



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

電子納品物検査支援システム

Ver.4.0

システム操作説明書

令和5年3月

国土交通省 国土技術政策総合研究所

【注意事項】

- ★このシステム及び操作説明書を使用することによって生じる損害等については、一切責任を負いかねます。
- ★Windows の基本操作について
この操作説明書は、Windows の利用者環境で作成しており、Windows の基本的な操作については、理解いただいていることを前提としております。Windows の操作については各操作説明書を参照してください。
- ★このシステムの仕様は事前の予告なしに変更される場合があります。
- ★この操作説明書の内容は事前の予告なしに変更される場合があります。
- ★Microsoft, Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ★Adobe, Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標です。
- ★本ソフトウェアの CAD チェック機能には「SXF 共通ライブラリ」を使用しています。

目 次

1	電子納品物検査支援システムの概要.....	1
1.1	システムの基本機能.....	1
1.2	システム要件.....	1
1.3	対象要領・基準.....	2
2	電子納品物検査支援システムのインストール.....	4
2.1	インストールプログラムの起動.....	4
2.2	「電子納品物検査支援システム」のインストール.....	6
2.3	インストール先の指定.....	6
2.4	インストールの確認.....	7
2.5	インストールの開始.....	7
2.5.1	Visual C++ 2008 ランタイムライブラリのインストール.....	8
2.5.2	Visual C++ 2008 Redistributable セットアップ開始.....	8
2.5.3	インストールの完了.....	8
2.5.4	インストールの完了.....	9
2.6	インストールの完了.....	9
2.7	システム利用開始.....	9
3	電子納品物検査支援システムのアンインストール.....	10
4	電子納品物検査支援システム利用方法.....	11
4.1	画面フロー.....	11
4.2	操作方法.....	12
4.2.1	電子納品フォルダ選択画面.....	12
4.2.2	チェック・閲覧対象フォルダの選択.....	17
4.2.3	チェック処理.....	19
4.2.4	エラー結果画面（要素内容エラー）.....	20
4.3	エラー結果ファイル出力.....	22
4.4	エラー結果印刷.....	23
4.4.1	エラーがない電子納品物.....	24
4.5	ZIP 出力.....	25
4.6	電子納品媒体閲覧機能（閲覧画面）.....	26
4.6.1	閲覧画面と表示項目.....	26
4.6.2	閲覧画面のヘッダー項目.....	26
4.6.3	電子納品媒体ツリー.....	27
4.6.4	横展開表示.....	32
4.6.5	絞込み表示.....	34
4.6.6	詳細リスト.....	35
4.6.7	ICON・BIMCIM フォルダ表示ボタン.....	37
4.6.8	閲覧画面のボタン.....	38
5	エラーメッセージ一覧表.....	39
5.1	使用文字列に関する基本的なエラー.....	39
5.2	固定文字列に関するエラー.....	41
5.2.1	INDEX_C,INDEX_EC,INDEX_MC,INDEX_D,INDEX_ED,INDEX_MD.....	41
5.2.2	MEET.....	42
5.2.3	PLAN.....	42
5.2.4	OTHR.....	42
5.2.5	DRAWING.....	43
5.2.6	PHOTO.....	43
5.2.7	REPORT.....	44
5.2.8	OPENREP.....	44
5.2.9	SURVEY.....	44
5.2.10	SURV_KTN,SURV_SJN...,SURV_*（SURVEY 配下）.....	44

5.2.11 SURV_DOC	45
5.2.12 BORING	45
5.2.13 GRNDTST	46
5.2.14 STLIST	47
5.2.15 BS.....	47
5.2.16 BC	48
5.2.17 BD	48
5.2.18 BI.....	48
5.2.19 BE	49
5.2.20 BM.....	49
5.2.21 DL	49
5.2.22 COREPIC	50
5.2.23 FACILITY.....	50
5.2.24 OTHERFILES.....	50
5.2.25 REGISTER、REGIST_M.....	51
5.3 複雑なチェックに関するエラー.....	52
5.3.1 INDEX_C,INDEX_EC,INDEX_MC,INDEX_D,INDEX_ED,INDEX_MD	52
5.3.2 BS.....	53
5.3.3 BC	53
5.3.4 BI.....	53
5.3.5 BD	53
5.3.6 BE	53
5.3.7 BM.....	54
5.3.8 MEET.....	54
5.3.9 PLAN	54
5.3.10 OTHRS	55
5.3.11 DRAWING	56
5.3.12 PHOTO	62
5.3.13 REPORT	63
5.3.14 SURVEY	64
5.3.15 SURV_KTN,SURV_SJN,.....	66
5.3.16 SURV_DOC	67
5.3.17 BORING	68
5.3.18 COREPIC	68
5.3.19 GRNDTST	69
5.3.20 STLIST	70
5.3.21 FACILITY.....	70
5.4 実在チェック	70
5.4.1 BORING	70
5.4.2 BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn、BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn ...	71
5.4.3 SURVEY DOC.....	73
5.4.4 SPEC.....	74
5.4.5 K_LDR	74
5.4.6 ICON、BIMCIM.....	75
5.4.7 フォルダ	75
5.5 その他の処理（エラー・警告・情報メッセージ）	76

1 電子納品物検査支援システムの概要

1.1 システムの基本機能

本システムは、電子成果品のチェックで利用される「電子納品物検査支援システム」に、電子納品物保管管理システムへの登録機能を付与したシステムです。機能一覧を表 1-1 に示します。

表 1-1 機能一覧

カテゴリ	主な機能
閲覧機能	ツリー構造表示機能
	書類名の日本語表示とソート機能
	詳細表示機能
	オリジナルファイル一覧選択表示機能
	オリジナルファイル表示機能
チェック機能	XML構成チェック
	オリジナルファイル存在チェック
	要素内容チェック (禁則文字チェック、必須入力チェック、ファイルの实在チェック、ネーミングルールチェック、連番チェック、CADファイルチェック)
	上記チェックをフォルダごとを実施する機能

1.2 システム要件

本システムの動作に必要な環境を表 1-2 に示します。

表 1-2 動作環境

大分類	中分類	小分類
ソフトウェア	OS	Windows10
	ミドルウェア	Microsoft .NET Framework 4 以降 ^{※1} Microsoft Visual C++ 2008 以降の再頒布可能パッケージ ^{※1}
	(必要に応じて) アプリケーション ソフトウェア	・ PDF閲覧ソフト ・ SXFビューア (P21 形式CAD図面の閲覧) ^{※2} ・ 3D CAD閲覧ソフト ・ オフィスソフト(文書、表計算)
ハードウェア	CPU/メモリ	OSが推奨する環境以上
	ハードディスク	インストール時、17MB以上の空き容量 動作時、読み込む電子納品媒体の容量の倍以上の空き容量
	光学ドライブ装置	CD-R、DVD-R等を読み込み可能なもの

※1) 未インストールの場合、本システムインストール時にインストールされます。

※2) OCF 検定認証の SXF ビューアを使用してください。

●OCF 検定認証ソフトウェア一覧(SXF) → https://ocf.or.jp/kentei/soft_ichiran/

1.3 対象要領・基準

本システムで、チェック及び閲覧可能な電子納品要領・基準類を表 1-3 に示します。

表 1-3 電子納品要領・基準類

名称	年月
工事完成図書の電子納品要領(案)	平成 16 年 6 月
	平成 20 年 5 月
工事完成図書の電子納品等要領	平成 22 年 9 月
	平成 28 年 3 月
	平成 31 年 3 月
	令和 2 年 3 月
	令和 3 年 3 月
令和 4 年 3 月	
工事完成図書の電子納品要領(案) 電気通信設備編	平成 16 年 6 月
工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編	平成 22 年 9 月
	平成 28 年 3 月
	平成 31 年 3 月
	令和 4 年 3 月
工事完成図書の電子納品等要領(案) 機械設備工事編	平成 18 年 3 月
	平成 24 年 12 月
工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編	平成 28 年 3 月
	平成 31 年 3 月
	令和 4 年 3 月
土木設計業務等の電子納品要領(案)	平成 16 年 6 月
	平成 20 年 5 月
土木設計業務等の電子納品要領	平成 28 年 3 月
	平成 31 年 3 月
	令和 2 年 3 月
	令和 4 年 3 月
土木設計業務等の電子納品要領(案) 電気通信設備編	平成 16 年 6 月
土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編	平成 22 年 9 月
	平成 28 年 3 月
	平成 31 年 3 月
土木設計業務等の電子納品要領(案) 機械設備工事編	平成 18 年 3 月
	平成 24 年 12 月
土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編	平成 28 年 3 月
	平成 31 年 3 月
C A D 製図基準(案)	平成 16 年 6 月
	平成 20 年 5 月
C A D 製図基準	平成 28 年 3 月
	平成 29 年 3 月
C A D 図面作成要領(案)	平成 17 年 3 月
C A D 製図基準(案) 電気通信設備編	平成 16 年 6 月
C A D 製図基準 電気通信設備編	平成 22 年 9 月
	平成 28 年 3 月
	平成 29 年 3 月
C A D 製図基準(案) 機械設備工事編	平成 18 年 3 月
	平成 24 年 12 月

名称	年月
C A D製図基準 機械設備工事編	平成 28 年 3 月
	平成 29 年 3 月
デジタル写真管理情報基準(案)	平成 16 年 6 月
	平成 18 年 1 月
	平成 20 年 5 月
デジタル写真管理情報基準	平成 22 年 9 月
	平成 28 年 3 月
	令和 2 年 3 月
測量成果電子納品要領(案)	平成 16 年 6 月
	平成 20 年 12 月
測量成果電子納品要領	平成 28 年 3 月
	平成 30 年 3 月
	令和 3 年 3 月
地質・土質調査成果電子納品要領(案)	平成 16 年 6 月
	平成 20 年 12 月
地質・土質調査成果電子納品要領	平成 28 年 10 月
地方整備局（港湾空港関係）の事業における 電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】	平成 18 年 3 月
	平成 22 年 5 月
地方整備局（港湾空港関係）の事業における 電子納品運用ガイドライン【業務編】	平成 29 年 3 月
	平成 30 年 3 月
	令和 2 年 3 月
	令和 4 年 3 月
地方整備局（港湾空港関係）の事業における 電子納品運用ガイドライン【業務編】	令和 5 年 3 月
	平成 18 年 3 月
	平成 22 年 5 月
	平成 23 年 3 月
地方整備局（港湾空港関係）の事業における 電子納品等運用ガイドライン【工事編】	平成 29 年 3 月
	平成 30 年 3 月
	令和 2 年 3 月
	令和 4 年 3 月
	令和 5 年 3 月
地方整備局（港湾空港関係）の事業における 電子納品運用ガイドライン(案)【資料編】	平成 18 年 3 月
	平成 20 年 7 月
地方整備局（港湾空港関係）の事業における 電子納品等運用ガイドライン【資料編】	平成 23 年 3 月
	平成 29 年 3 月
	平成 30 年 3 月
	令和 2 年 3 月
	令和 4 年 3 月
令和 5 年 3 月	

2 電子納品物検査支援システムのインストール

2.1 インストールプログラムの起動

電子納品物検査支援システムを「港湾 CALS」 ページ(<https://www.ysk.nilim.go.jp/cals/>)からダウンロードします。ダウンロードした ZIP ファイルを解凍すると図 2-1 のような「Install.exe」ファイルが生成されます。

Install.exe をダブルクリックしてインストールを開始します。

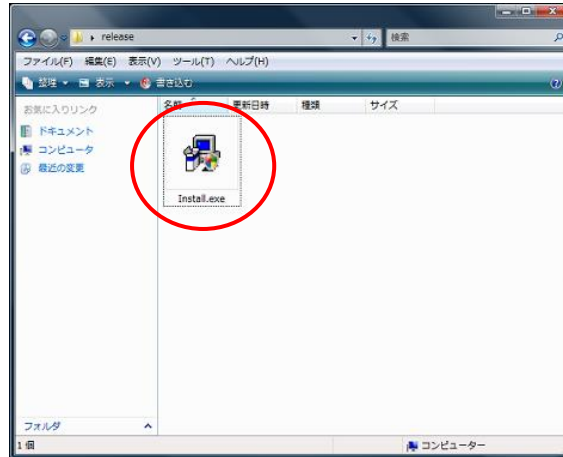


図 2-1 セットアップファイルの実行

※ユーザアカウント制御 (図 2-2) が表示される場合があります。
その場合は [はい] をクリックして処理を進めてください。



図 2-2 ユーザアカウント制御

以下の画面が表示されますので、[はい] をクリックします。



図 2-3 インストール開始

※ **【.NET Framework(バージョン 4.0 以降) がインストールされていない場合】**

電子納品物検査支援システムでは、.NET Framework (バージョン 4.0 以降) が必要です。

.NET Framework4.0 以降がインストールされていない場合は、ネットワークインストールが始まります。(インストールには時間がかかります)

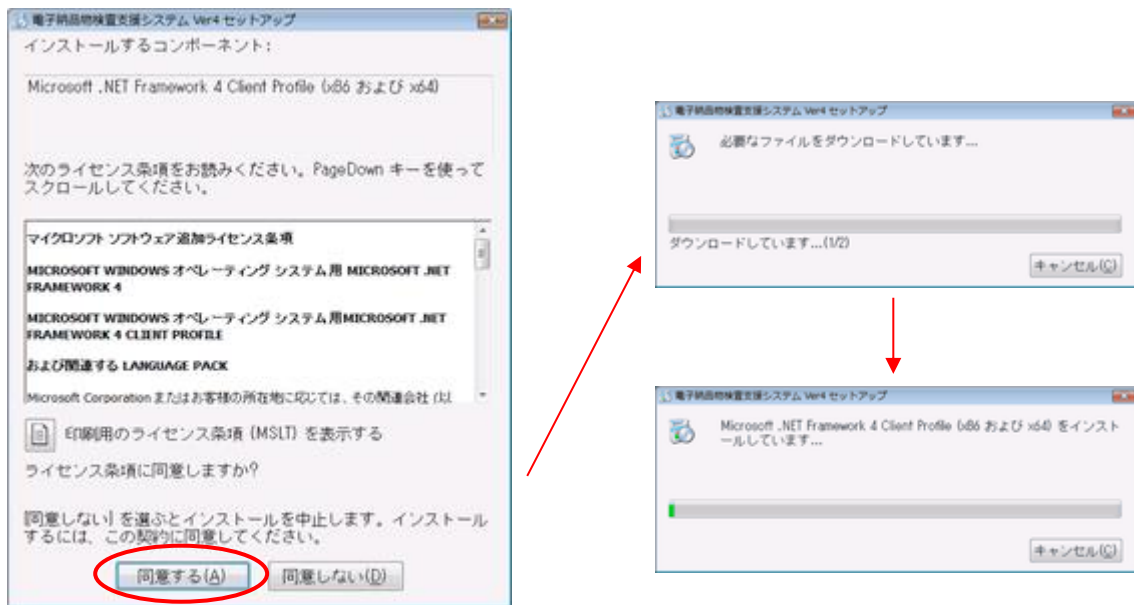


図 2-4 .NET Framework4.0 インストール

★.NET Framework4.0 インストール後は、Windows Update を実行して、更新プログラムが提供されていた場合は適用してください。

2.2 「電子納品物検査支援システム」のインストール

電子納品物検査支援システムのインストールが始まります。[次へ] ボタンをクリックします。

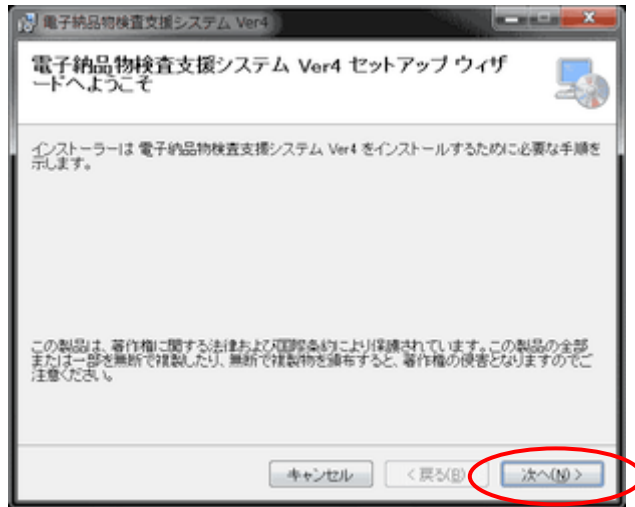


図 2-5 インストール開始

2.3 インストール先の指定

インストール先指定画面 (図 2-6) が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。

※セットアップ先を変更する場合は、[参照] ボタンをクリックしてセットアップ先ディレクトリを変更してください。

※ディスクの空き容量を確認したい場合は [ディスク領域] ボタンをクリックしてください。

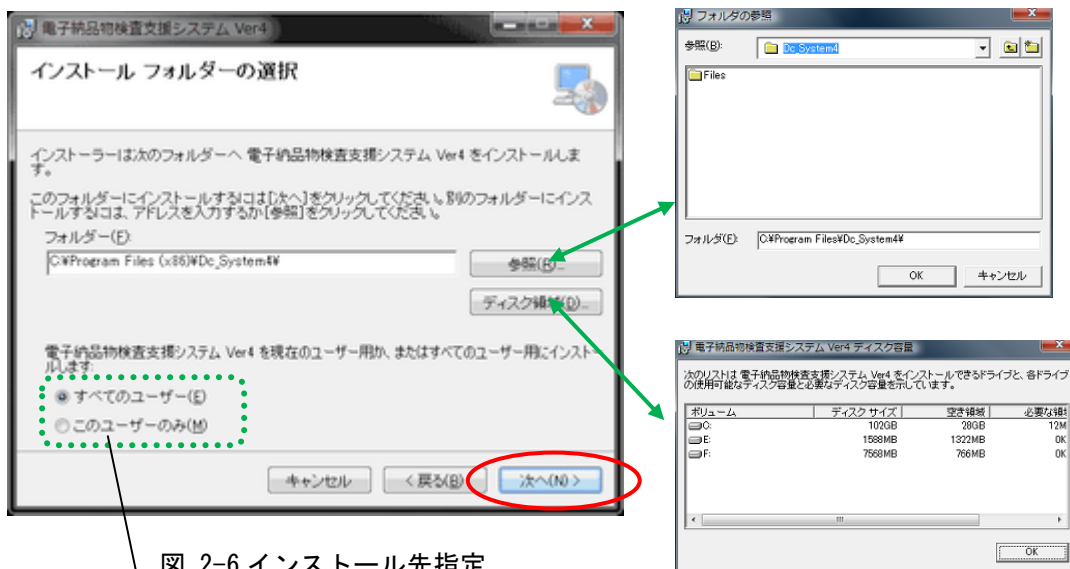


図 2-6 インストール先指定

[すべてのユーザ]

1 台のパソコンを複数のユーザアカウントでログインされる場合にはこちらを選択します。

[このユーザーのみ]

現在ログインされているユーザアカウントでのみ利用される場合はこちらを選択します。

2.4 インストールの確認

以下の画面が表示されます。セットアップを継続するには、[次へ] ボタンをクリックします。



図 2-7 インストールの確認

2.5 インストールの開始

インストールが開始されます。

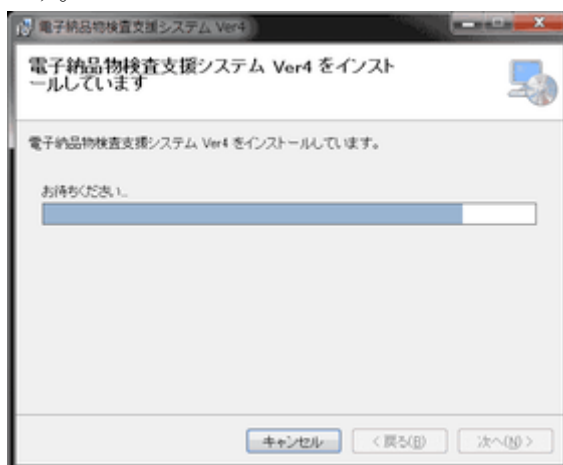


図 2-8 インストール中

【Visual C++ 2008 Redistributable がインストールされていない場合】

2.5.1 ~ 2.5.4 の追加セットアップが開始されます。

2.5.1 Visual C++ 2008 ランタイムライブラリのインストール
以下の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

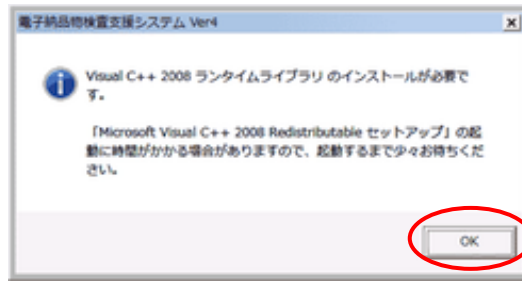


図 2-9 VisualC++2008 が入っていないとき

2.5.2 Visual C++ 2008 Redistributable セットアップ開始

以下の画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。

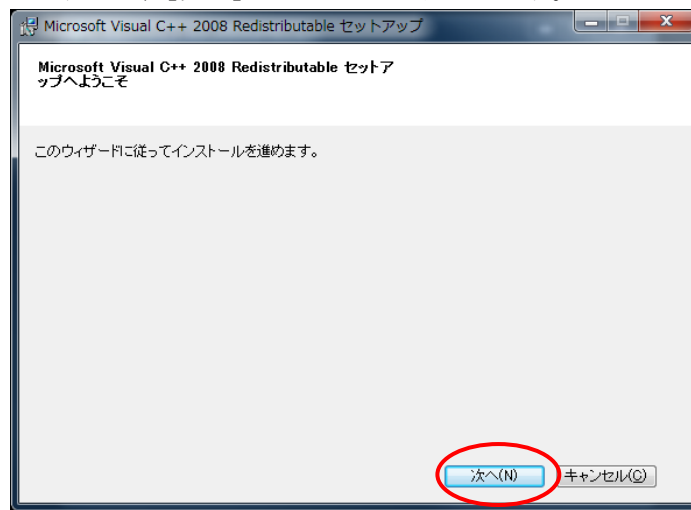


図 2-10 Visual C++ 2008 Redistributable セットアップ

2.5.3 インストールの完了

以下の画面が表示されますので、ライセンス条項を読み、[同意する] にチェックを付けて、[インストール] ボタンをクリックします。

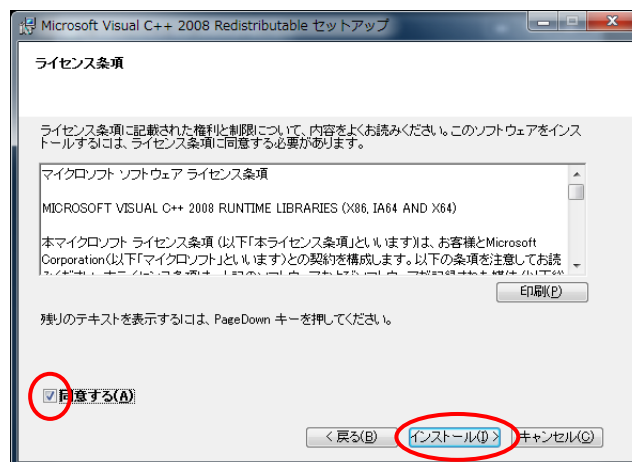


図 2-11 ライセンス条項確認

2.5.4 インストールの完了

セットアップが終了したらセットアップ完了画面が表示されますので、[完了] ボタンをクリックします。

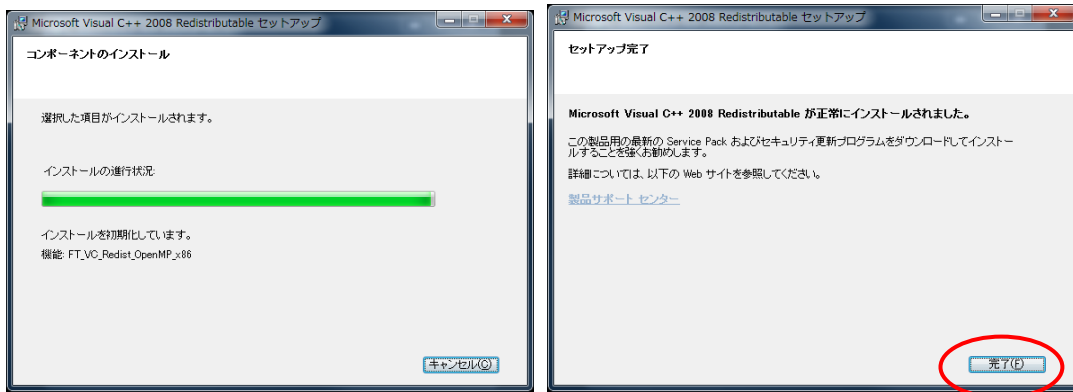


図 2-12 VC++2008 セットアップ完了

2.6 インストールの完了

セットアップが終了したら以下の画面が表示されますので、[閉じる] ボタンをクリックします。

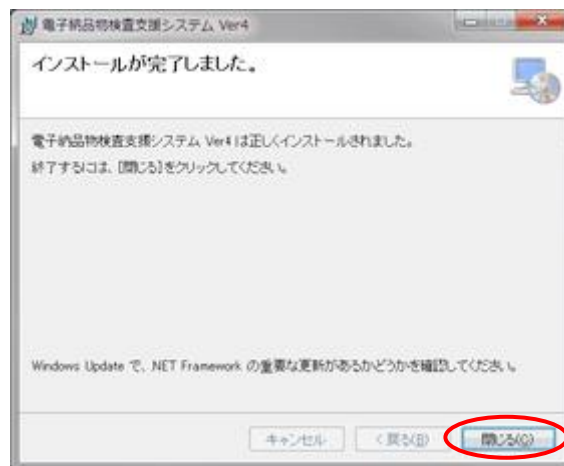


図 2-13 インストール完了

2.7 システム利用開始

デスクトップ上に「電子納品物検査支援システム Ver4」のアイコンが作成されます。ダブルクリックするとシステムが起動します。

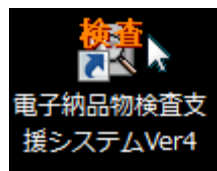


図 2-14 検査支援システム Ver. 4 のアイコン

3 電子納品物検査支援システムのアンインストール

インストール済みの「電子納品物検査支援システム Ver4」を削除する手順です。

- (1) Windows の「設定」から「アプリ」を起動します。
- (2) 図 3-1 が表示されますので、「電子納品物検査支援システム Ver4」を選択し、[アンインストール] をクリックします。

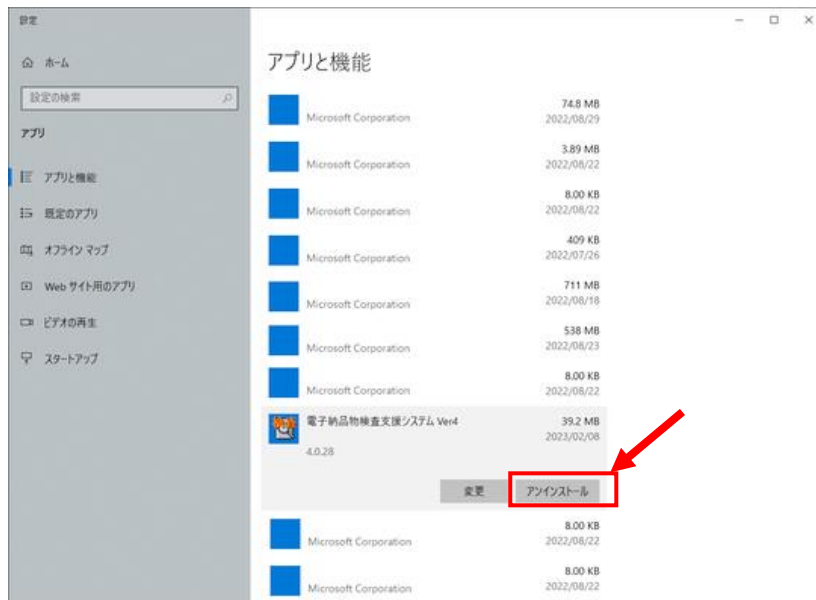


図 3-1 プログラムと機能

- (3) 以下の画面が表示されますので、[アンインストール] ボタンをクリックします。

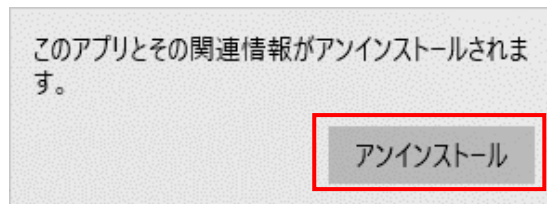


図 3-2 アンインストール確認

- (4) 削除作業の時には下図に示す画面が表示され、「プログラムと機能」から「電子納品物検査支援システム Ver4」が削除されます。

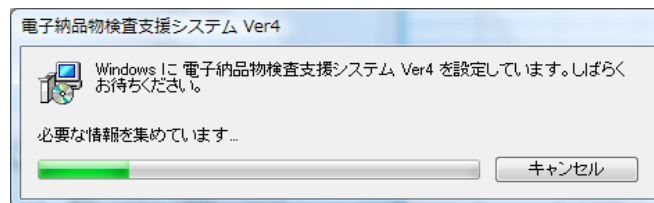


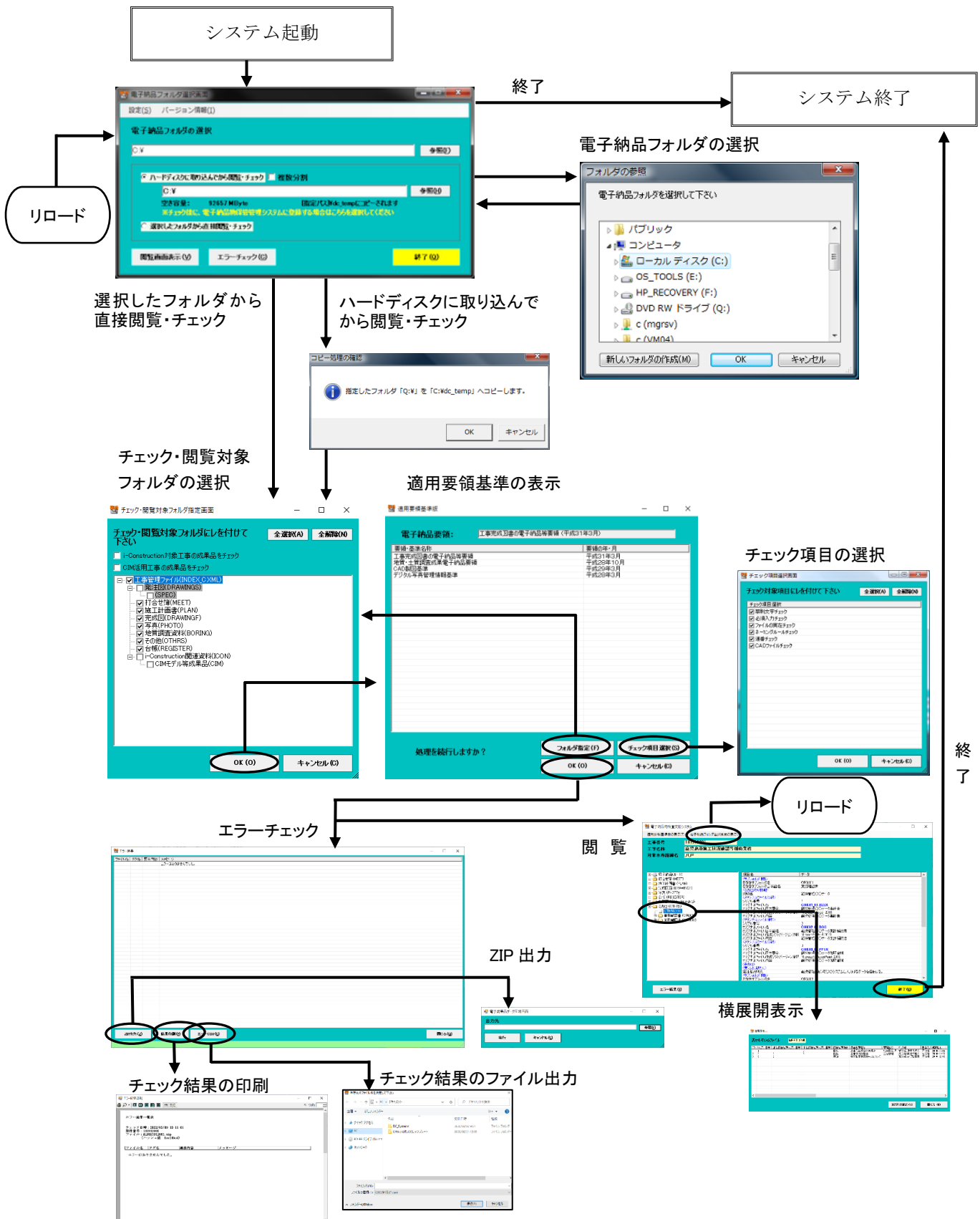
図 3-3 プログラム削除中

※ユーザアカウント制御の画面が表示される場合があります。
その場合は[はい]をクリックして処理を進めてください。

4 電子納品物検査支援システム利用方法

4.1 画面フロー

電子納品物検査支援システムの画面フローを以下に示します。



4.2 操作方法

4.2.1 電子納品フォルダ選択画面

(1) 電子納品物検査支援システムを起動すると、電子納品フォルダ選択画面が表示されます。

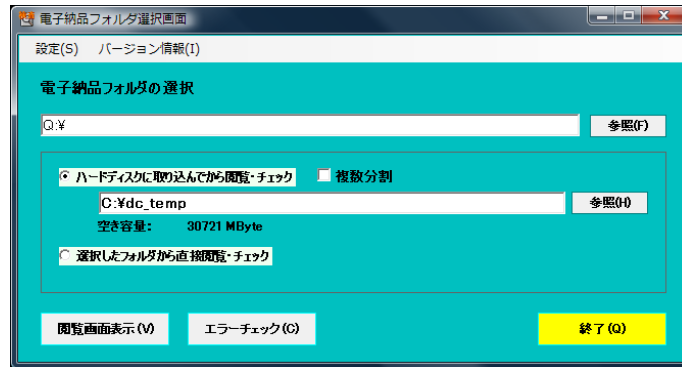


図 4-1 電子納品フォルダ選択画面

(2) 電子納品媒体（CD-R 等）をドライブ（CD-ROM ドライブ等）に挿入して、[参照(F)] ボタンをクリックし、ドライブを選択してください。

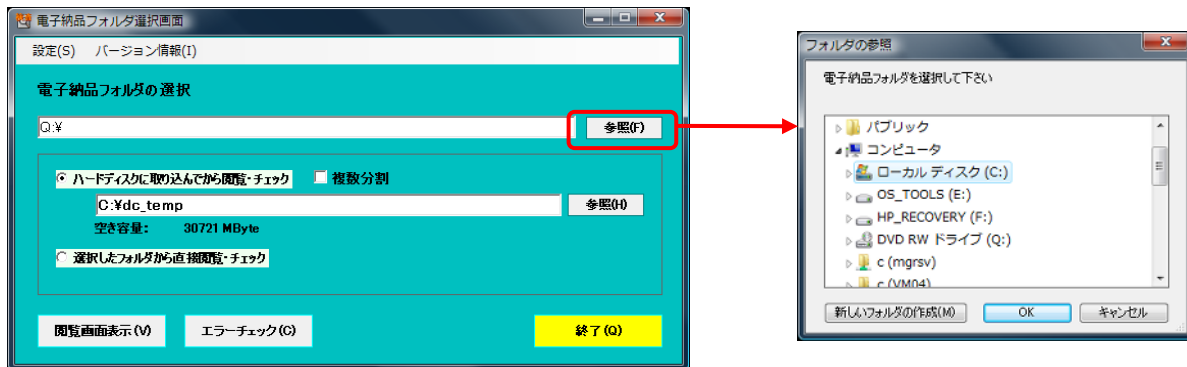


図 4-2 フォルダ選択

電子納品媒体がハードディスクに収められている場合は、工事管理ファイル、業務管理ファイル(INDEX_C(D,EC,ED,MC,MD).XML) があるフォルダを選択します。

なお、対象フォルダを上記ウィンドウ内にドラッグ&ドロップしても指定可能です。

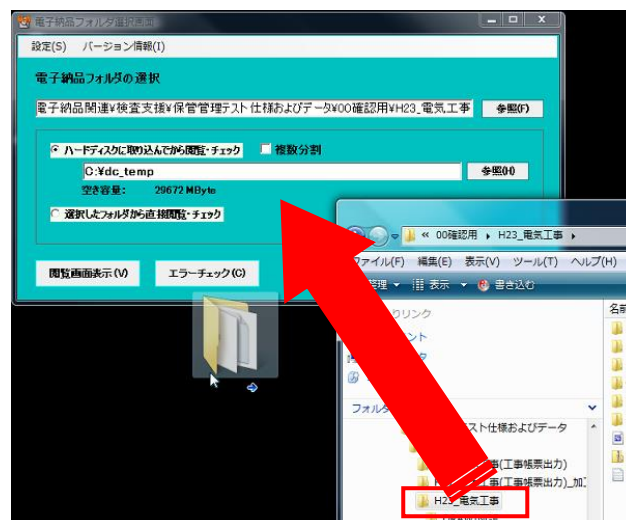


図 4-3 フォルダをドラッグ&ドロップ

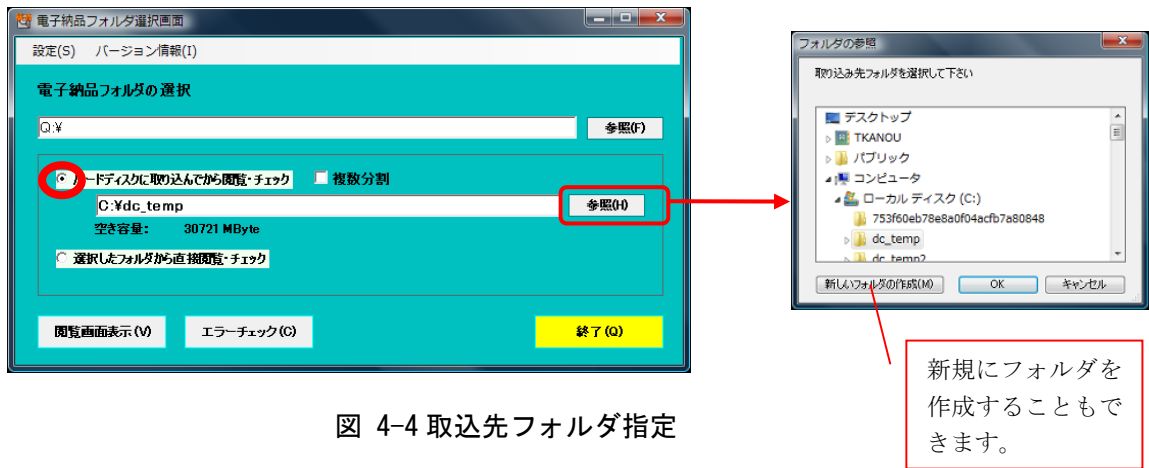
(3) 電子納品媒体の読み込み方法を選択します。

- ハードディスクに取り込む → (4) へ
 ※媒体が複数に分かれている場合はこちらを選択してください
- 直接読み込む → (5) へ

- ・ハードディスクに取り込んだ場合、初めのファイルコピーに時間がかかりますが、閲覧時にオリジナルファイルを開く際の時間が短縮されます。
- ・直接読み込む場合、電子納品媒体は1枚のみ対象となります。
電子納品媒体が複数枚の場合は、ハードディスクに取り込む方法を選択してください。

(4) 「ハードディスクに取り込んでから閲覧・チェック」をクリックします（既定値）。

- ①取り込み先のフォルダは、既定値として「C:¥dc_temp」が記載されています。（取り込み先のフォルダは C:¥dc_temp になります）
これを変更したい場合は、直接入力するか、[参照(H)] をクリックし、取り込み先フォルダを選択してください。[新しいフォルダの作成] で新規にフォルダを作成することもできます。



【重要】

電子納品媒体が複数枚の場合は、[複数分割] にチェックをしてください。
これにより、1枚目読み込み後に、2枚目の選択ウィンドウが表示されます。

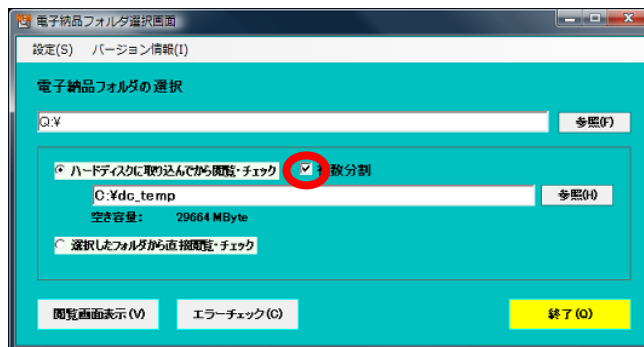


図 4-5 複数媒体の場合

- ②エラーチェックをせず、閲覧画面を表示する場合は、[閲覧画面表示(V)]
エラーチェックを行った後に閲覧画面を表示する場合は [エラーチェック(C)] をクリックしま
す。

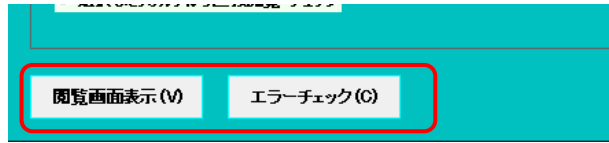


図 4-6 閲覧・エラーチェック選択

コピー処理の確認画面が表示されますので、[OK] をクリックします。

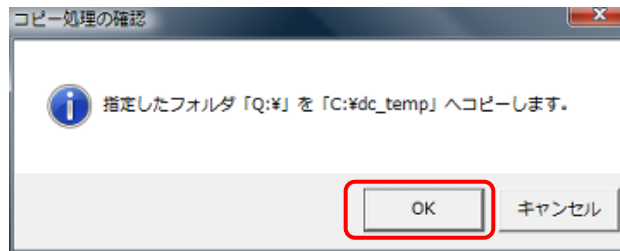


図 4-7 コピー処理開始

電子納品媒体の取り込みが開始されます。

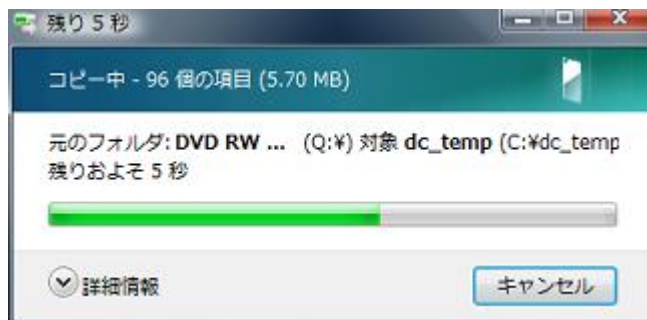


図 4-8 ファイル取り込み

【重要】

[複数分割] にチェックした場合は、1 枚目のメディア指定画面が出ます。参照先
がよろしければそのまま [OK] を、違っている場合は、参照先を変更してから [OK]
をクリックします。

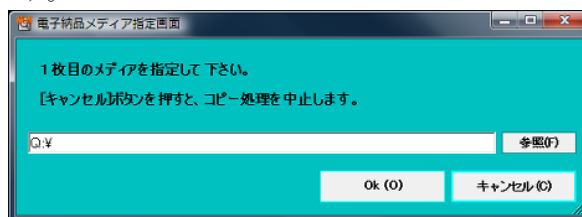


図 4-9 メディア指定画面

2 枚目以降も同様に参照先を聞いてきますので、指定します。

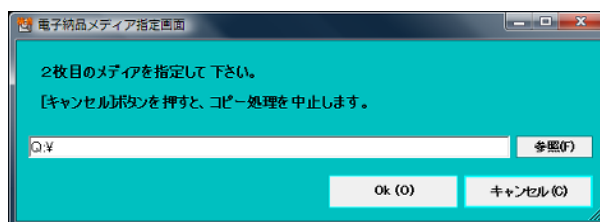


図 4-10 メディア指定画面 2 枚目以降

【重要】

取り込み先フォルダに既にデータがあった場合は、下図のようなウィンドウが出ますので、以下のいずれかを選択してください。

- ・ 取り込み先にあるデータを使う → [いいえ]
- ・ 取り込み先を削除してコピーする → [はい]
- ・ 取り込みを中止する → [キャンセル]



図 4-11 取り込み先にデータがあった場合

③読み込みが完了すると、チェック・閲覧対象フォルダの選択画面になります →4.2.2 へ

(5) 「選択したフォルダから直接閲覧・チェック」をクリックします。



図 4-12 直接閲覧・チェック

エラーチェックをせず、閲覧画面を表示する場合は、[閲覧画面表示(V)]
エラーチェックを行った後に閲覧画面を表示する場合は [エラーチェック(C)] をクリックします。

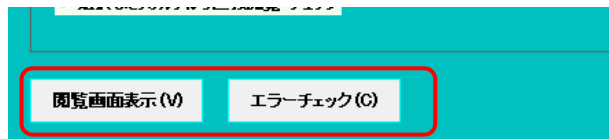


図 4-13 閲覧・エラーチェック選択

読み込みが完了すると、チェック・閲覧対象フォルダの選択画面になります →4.2.2 へ

【「エラーチェック」ボタンクリック時の事前チェックでのエラーメッセージについて】

「エラーチェック」ボタンクリック時、電子成果品の本チェックを実施する前に、電子成果品に含まれる管理ファイル等の状態をチェックします。

※エラー内容、及び対応方法詳細は、「5.5 その他の処理 (エラー・警告・情報メッセージ)」を参照願います。

4.2.2 チェック・閲覧対象フォルダの選択

完成された電子成果品だけでなく、電子納品要領に規定された各フォルダと管理ファイルのチェックを個別に実施できます。

i-Construction 成果品、BIMCIM 成果品の選択もここでを行います。

(1) チェック・閲覧対象フォルダを選択する画面が表示されます。

i-Construction 成果品、BIMCIM 成果品の場合は、どちらかにチェックを付けます。チェック・閲覧対象外のフォルダがあればチェックを外し [OK] をクリックします。

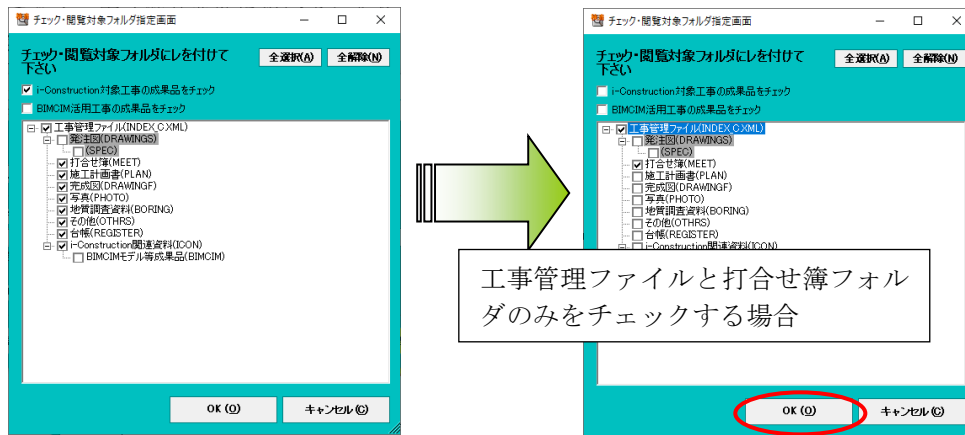


図 4-14 チェックフォルダ選択

※存在しないフォルダは、グレーアウト表示になり、選択できません。

(2) 電子成果品の要領・基準が表示されるので、[OK] をクリックします。

→4.2.3 へ



図 4-15 適用要領基準版画面

チェック、閲覧対象のフォルダを再指定する場合は、[フォルダ指定(F)] ボタンをクリックします。 → (1) へ

チェック項目を指定する場合は、[チェック項目選択(S)] ボタンをクリックします。 → (3) へ

- (3) チェックする項目を選択する画面が表示されます。
チェックを除外する項目のチェックを外し [OK] をクリックします。
→ (2) 画面に戻ります



図 4-16 チェック項目選択

4.2.3 チェック処理

(1) エラーチェックが開始されると、エラー結果画面左下に進捗状況が表示されます。

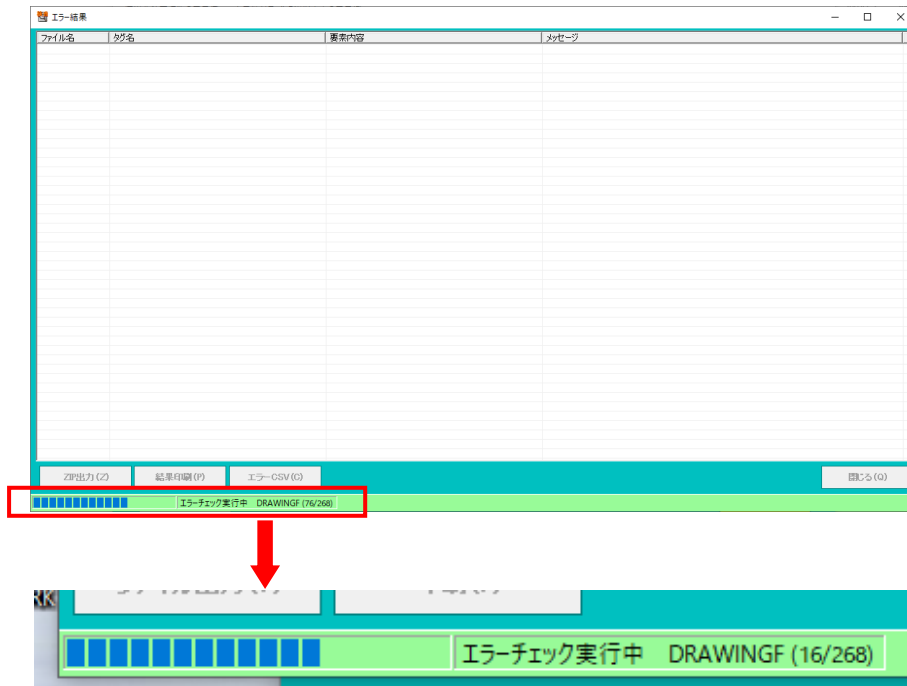


図 4-17 エラーチェック進捗

(2) エラーチェックが完了すると、チェック完了を知らせるダイアログが表示されます。

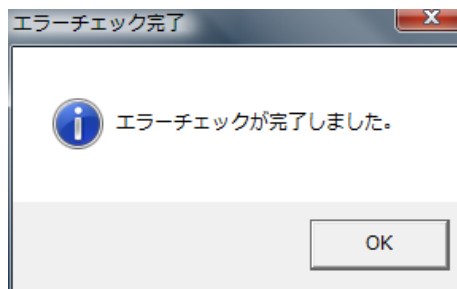


図 4-18 エラーチェック完了

チェック完了を知らせるウィンドウの [OK] をクリックすると、チェック結果のウィンドウと、電子納品媒体の閲覧画面が表示されます。

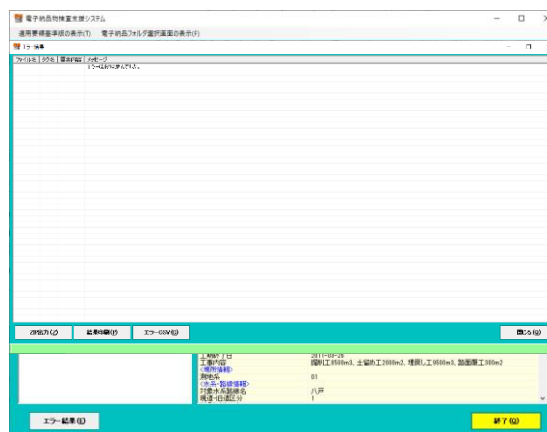


図 4-19 チェック結果と閲覧画面

4.2.4 エラー結果画面（要素内容エラー）

※エラー内容の対応方法は、「5 エラーメッセージ一覧表」を参照願います。

(1) 要素内容にエラーがある場合、エラー結果画面にその内容が表示されます。

(例) 打合せ簿オリジナルファイルフォルダの中に、打合せ簿管理ファイルに記述されたファイルがない場合のエラー結果ダイアログ

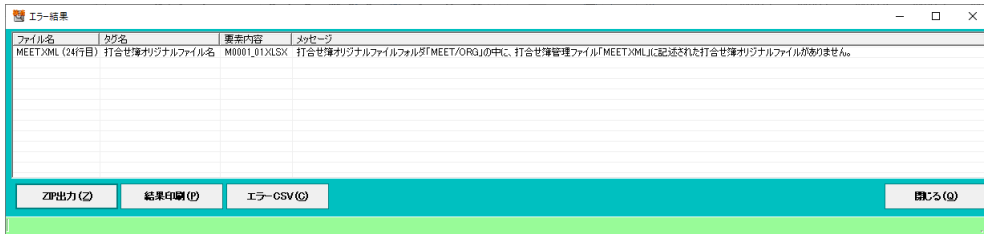


図 4-20 エラー結果

(2) エラー行をダブルクリックすると、閲覧画面上的対応する行が赤色表示になります。

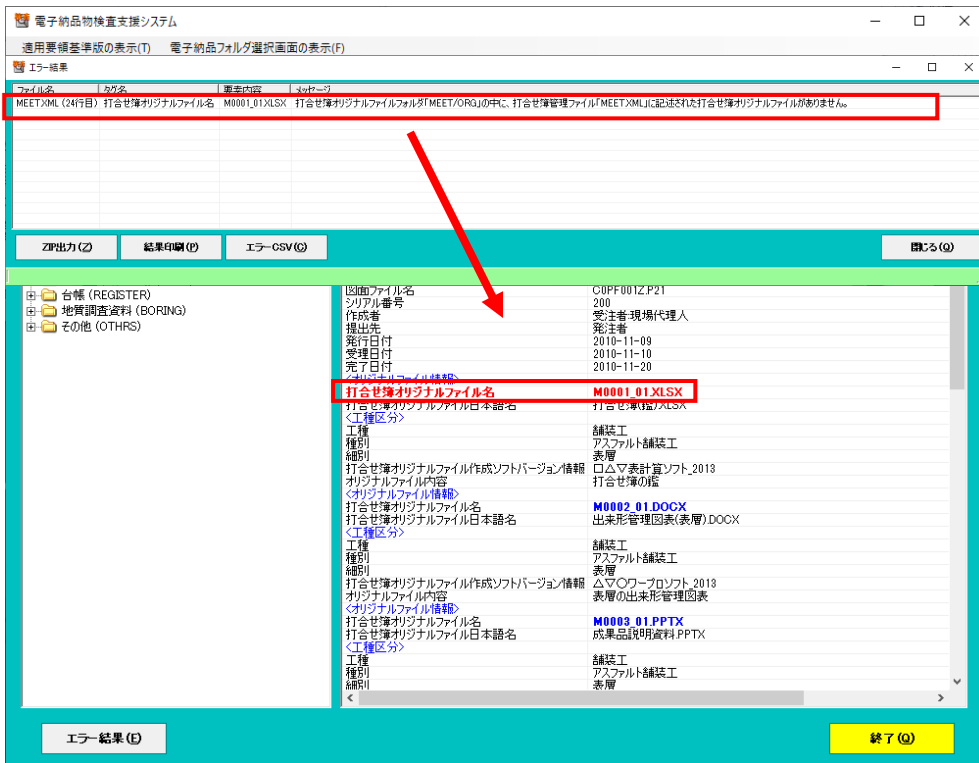
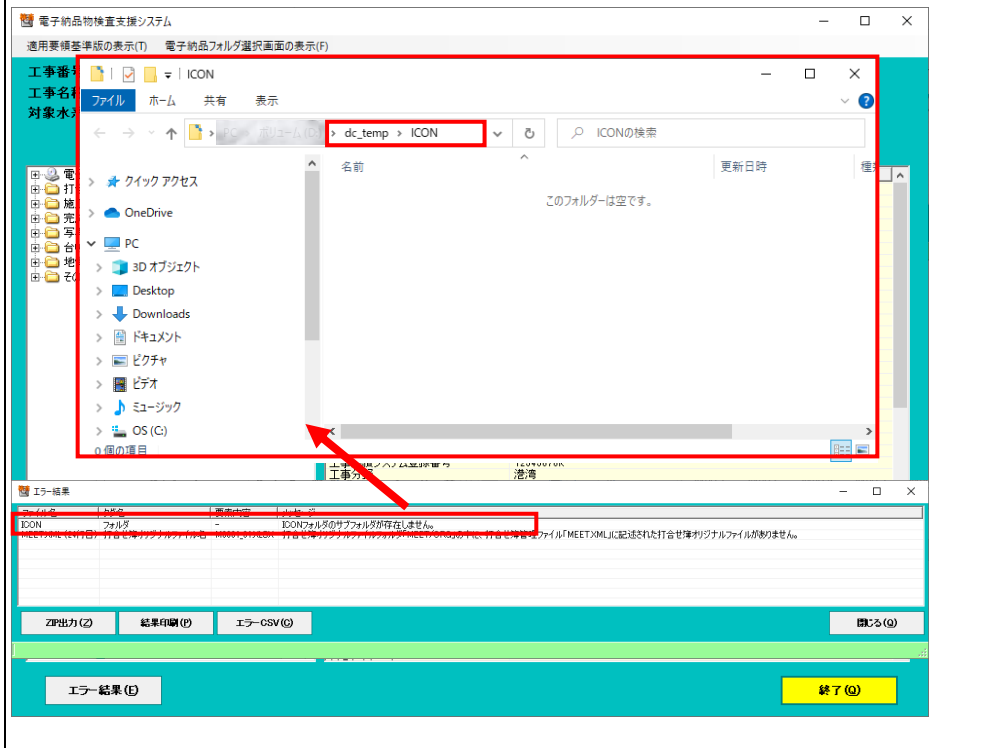
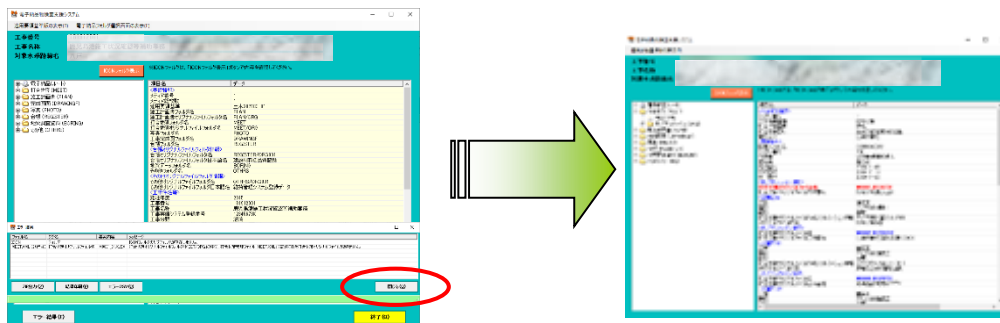


図 4-21 エラー行の表示

ダブルクリックしたエラー行が、i-Construction成果品、BIMCIM成果品に関するエラーの場合、エクスプローラで該当するフォルダ（ICONまたはBIMCIM）を開きます。



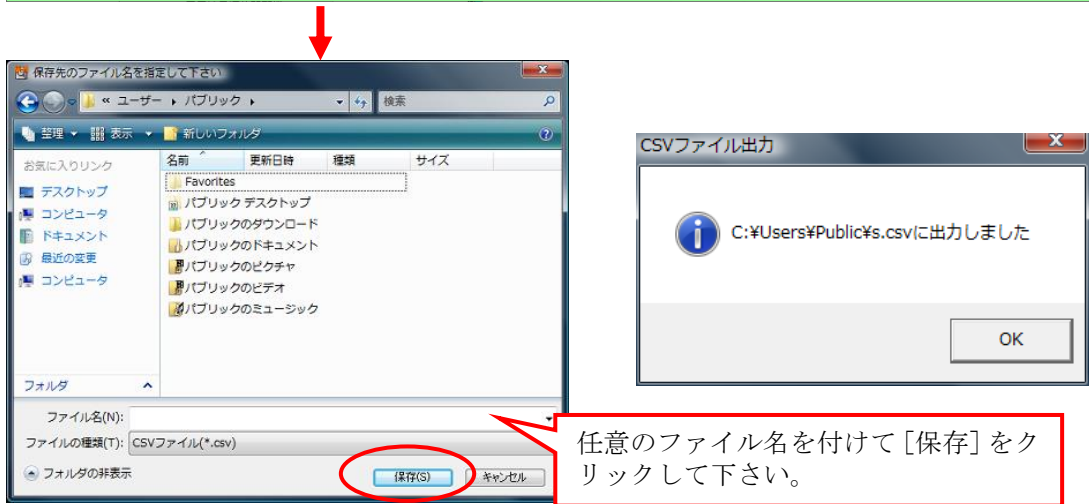
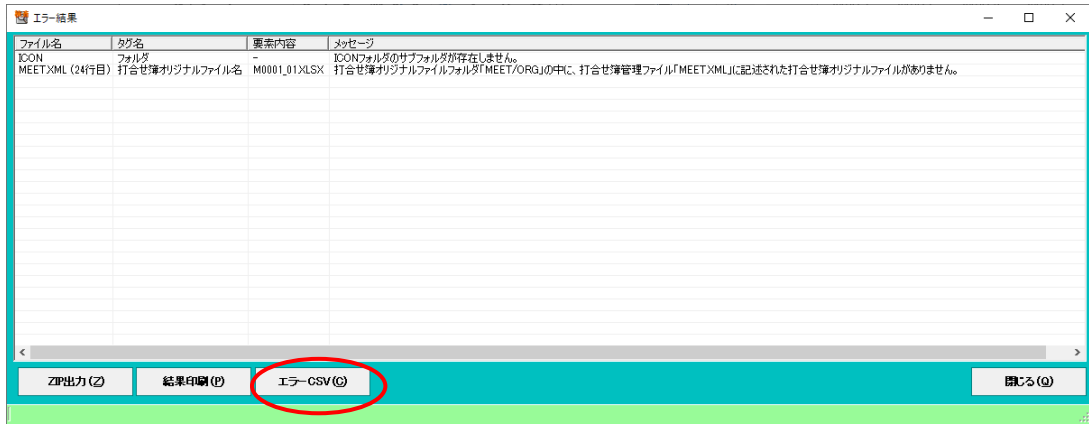
(3) 閉じるボタンを押すと、本画面が閉じて閲覧画面へ移動します。



4.3 エラー結果ファイル出力

エラー結果ダイアログの [エラーCSV] ボタンをクリックすると、エラー結果を CSV 形式でファイル出力します。

出力された CSV ファイルは、Excel などで見やすい形で閲覧、加工することができます。



任意のファイル名を付けて [保存] をクリックして下さい。

図 4-22 エラー結果ファイル出力

4.4 エラー結果印刷

エラー結果ダイアログの [結果印刷] ボタンをクリックすると、エラー結果印刷プレビューダイアログが表示されます。

印刷する場合は、プリンタアイコンボタンをクリックしてください。

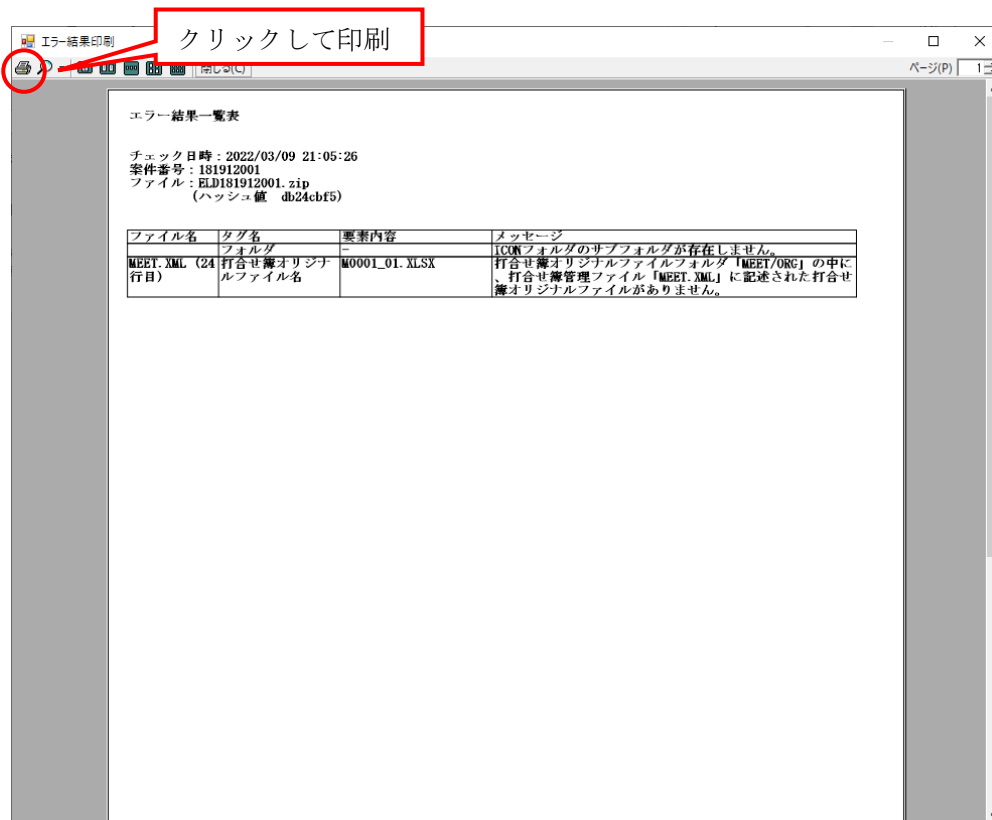
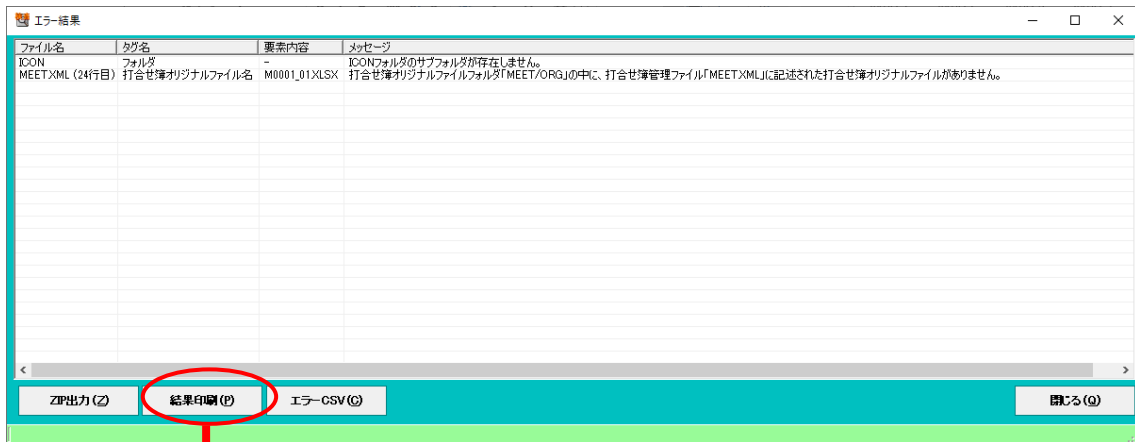


図 4-23 エラー結果印刷プレビュー

- ・エラー結果は、オンライン電子納品する際に必要となります。(図 4-23 でPDF保存するか、紙に印刷したものをスキャンしてPDFを作成します)
- ・オンライン電子納品をする場合、エラー結果出力は、「ZIP出力」後に実施願います。
(「ZIP出力」前に「結果印刷」を行うと、ハッシュ値部分が空欄となり、電子成果品との紐付けが出来なくなります)

4.4.1 エラーがない電子納品物

エラーチェックの結果、エラーが1件もなかった場合は、以下の表示、印刷結果になります。

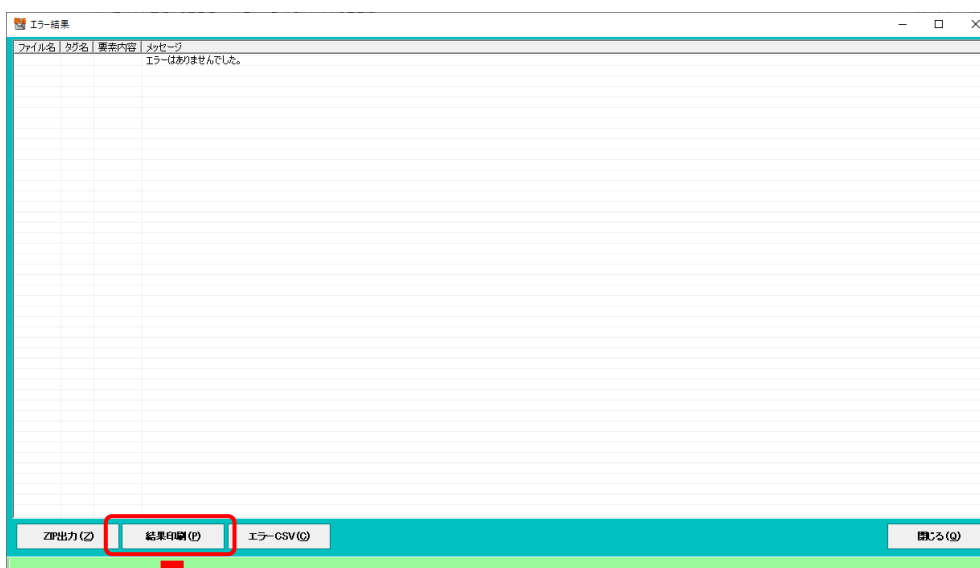


図 4-24 エラーなし（画面）

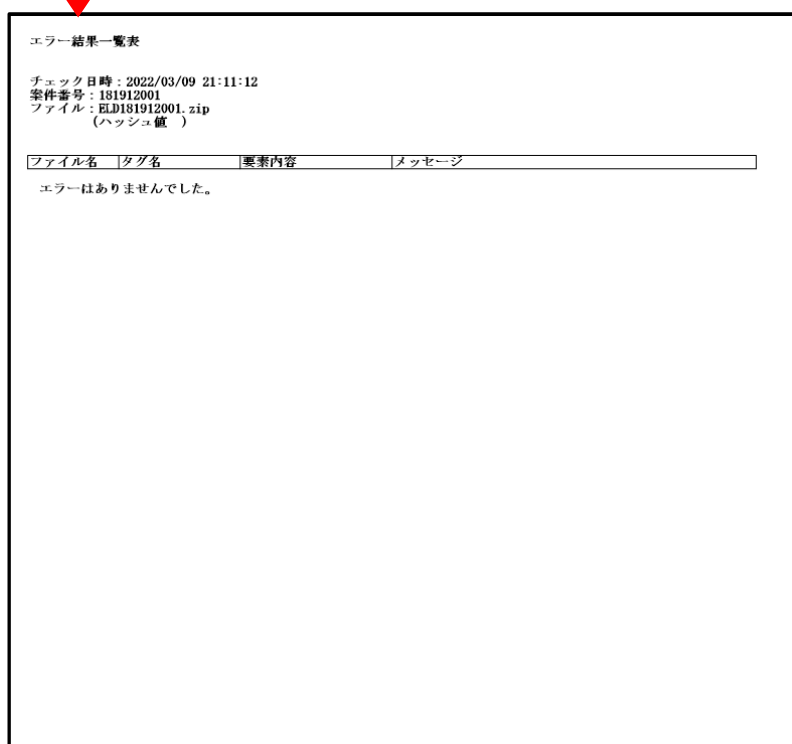
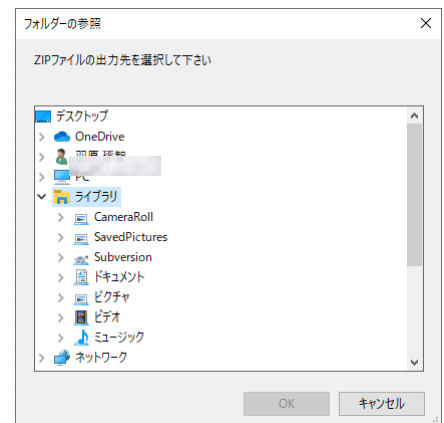
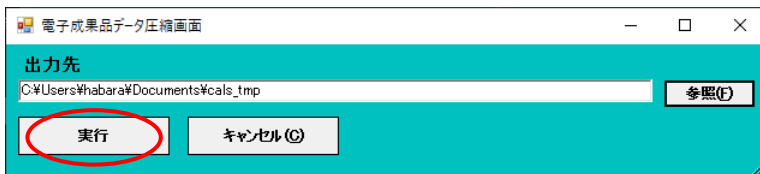
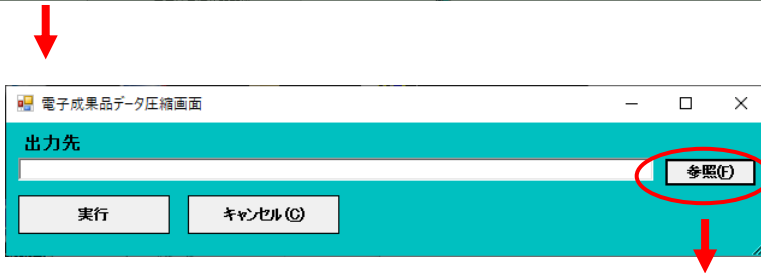
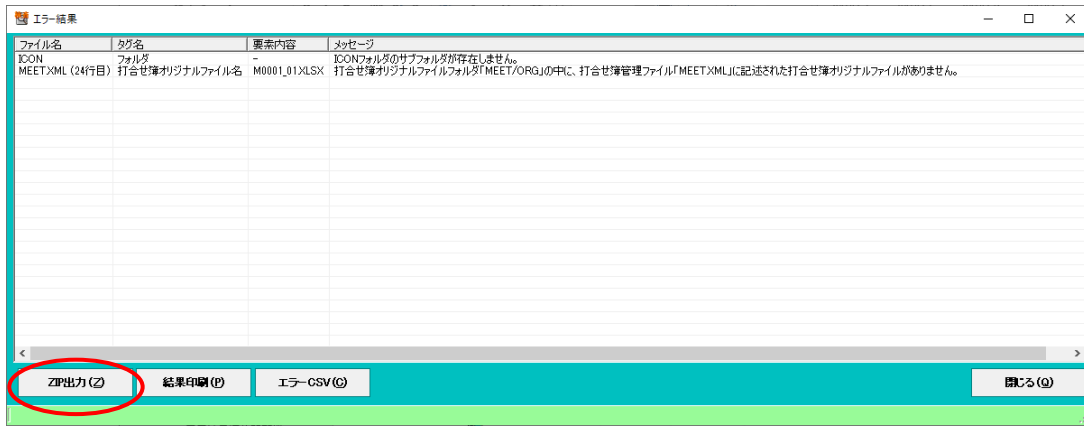


図 4-25 エラーなし（印刷）

4.5 ZIP 出力

エラー結果ダイアログの [ZIP 出力] ボタンをクリックすると、電子成果品データ圧縮画面が表示されます。

エラー結果を ZIP 形式でファイル出力する場合は、電子成果品データ圧縮画面の [参照] ボタンをクリックしてファイルの出力先を指定し、[実行] ボタンをクリックすると ZIP 圧縮されたファイルが出力されます。



4.6 電子納品媒体閲覧機能（閲覧画面）

4.6.1 閲覧画面と表示項目

閲覧画面表示を選択した場合、もしくはエラーチェックが終了した後に、閲覧画面が表示されます。



図 4-26 閲覧画面

4.6.2 閲覧画面のヘッダー項目

閲覧画面のヘッダー項目は以下の通りです。

◇ [工事完成図書電子納品閲覧の場合]

- ・ 工事名称、工事番号、路線水系名等

「工事名称」：INDEX_C(EC,MC).XML の<工事名称>の要素が表示されます。

「工事番号」：INDEX_C(EC,MC).XML の<工事番号>の要素が表示されます。

「路線水系名」：INDEX_C(EC,MC).XML の<路線水系名等>の要素が表示されます。

◇ [土木設計業務等閲覧の場合]

- ・ 業務名称、設計番号、水系路線名称

「業務名称」：INDEX_D(ED,MD).XML の<業務名称>の要素が表示されます。

「設計番号」：INDEX_D(ED,MD).XML の<設計書コード>の要素が表示されます。

「水系路線名称」：INDEX_D(ED,MD).XML の<業務対象水系路線名>の要素が表示されます。

4.6.3 電子納品媒体ツリー

- ✧ ツリー構造の初期表示はルートの子フォルダまでの表示です。
親フォルダの[+] をクリックすると、子フォルダまたはファイルが表示されます。



図 4-27 ツリー表示 (開いた状態)

- ✧ 各フォルダ配下の XML ファイルをダブルクリックすると、「横展開表示」ウィンドウが表示されます。
→ 4.6.4 へ

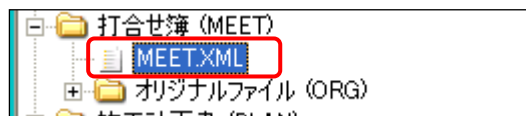


図 4-28 XML ファイルを選択

- ✧ 各書類アイコンをダブルクリックすると、「絞込み表示」ウィンドウが表示されます。
→ 4.6.5 へ

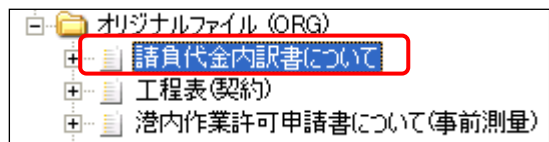


図 4-29 書類アイコン選択

- ✧ 各ファイルアイコンをダブルクリックすると、関連付けされたアプリケーションで、該当ファイルを開きます。(例：M0001_02.XLS の場合、Excel が起動)

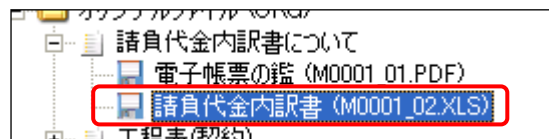


図 4-30 ファイルアイコン選択

- ✧ 各フォルダは、その種類によって、適したグループにまとめて表示されます。
グルーピング内容について、次頁以降に記載します。

(1) DRAWING グループング

完成図面(DRAWINGF)などの図面ツリーは、図面管理ファイルの『図面名』でグループングされます（「格納サブフォルダ」要素が記載されている場合は、グループングされません）。

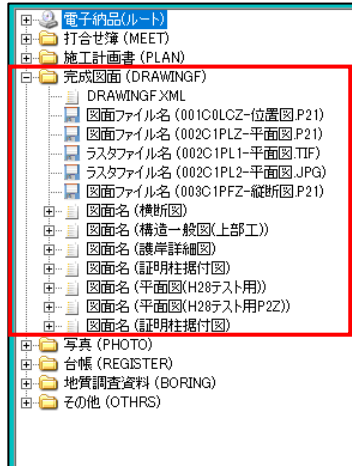


図 4-31 DRAWINGF ツリーのグループング

(2) MEET グループング

MEET ツリーは、打合せ簿管理ファイルの『打合せ簿名称』でグループングされます。

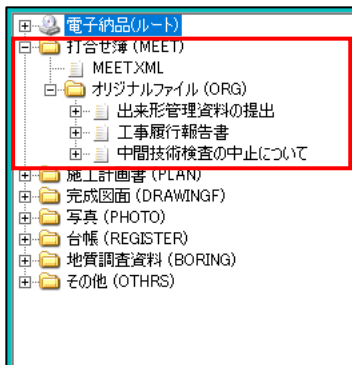


図 4-32 MEET ツリーのグループング

(3) PLAN グループング

PLAN ツリーは、施工計画書管理ファイルの『施工計画書名称』でグループングされます。

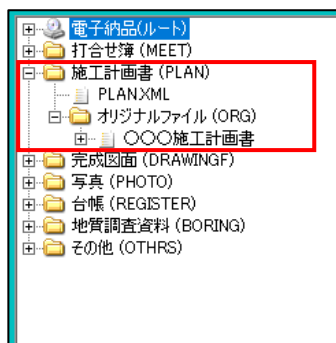


図 4-33 PLAN ツリーのグループング

(4) PHOTO グループング

PHOTO ツリーは、写真管理ファイルの『写真区分』でグループングされます。

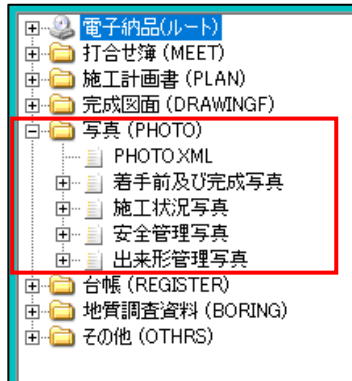


図 4-34 PHOTO ツリーのグループング

(5) OTHRS グループング

OTHRS ツリーは、『その他サブフォルダ日本語名』グループングされます。
また、ORG001~003 のサブフォルダは、『資料名』でグループングされます。

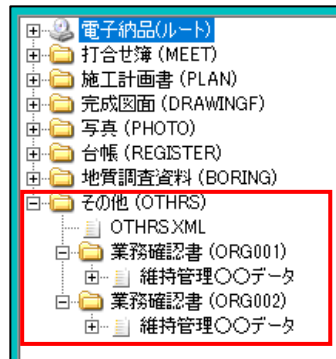


図 4-35 OTHRS ツリーのグループング

(6) SURVEY グループング

SURVEY ツリーは、測量情報管理ファイルの『測量区分』でグループングされます。

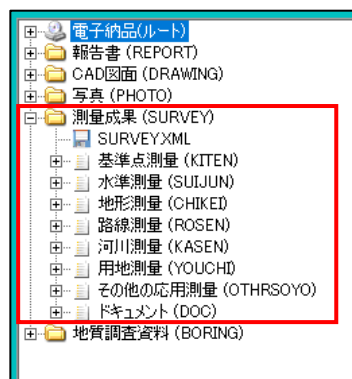


図 4-36 SURVEY ツリーのグループング

(7) BORING グルーピング

BORING ツリーは、地質情報管理ファイルの『ボーリング名』でグルーピングされます。

また、TEST サブフォルダ（土質試験及び地盤調査）は、『地点名』で、さらにそのサブフォルダは『試験名称』でグルーピングされます。

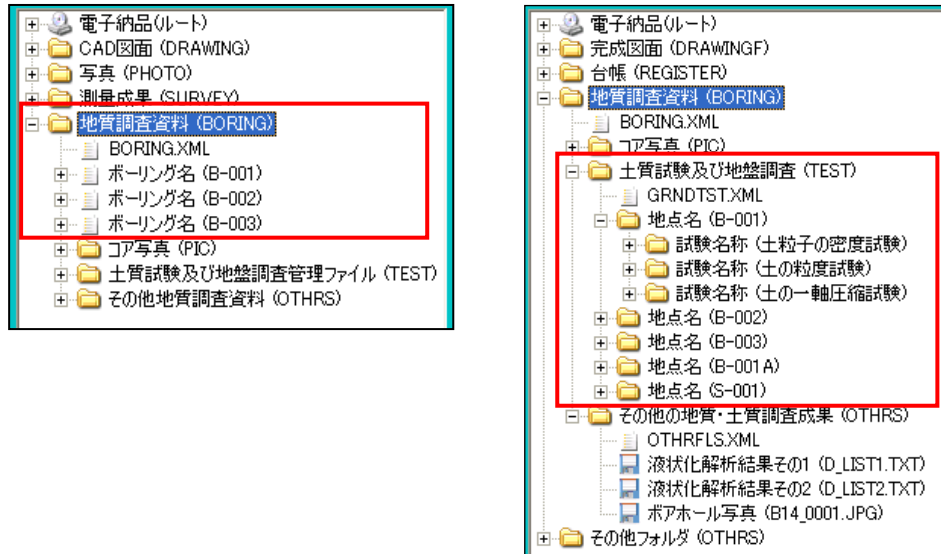


図 4-37 BORING ツリーのグルーピング

(8) REPORT グルーピング

REPORT ツリーは、報告書管理ファイルの『報告書名』でグルーピングされます。

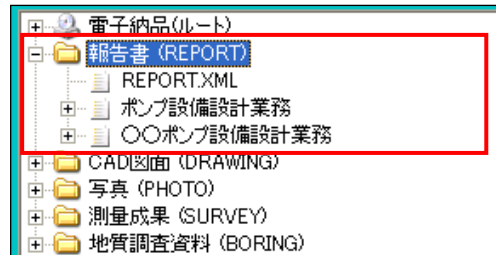


図 4-38 REPORT ツリーのグルーピング

(9) FACILITY グルーピング

FACILITY ツリーは、設備図書管理ファイルの『設計図書名称』でグルーピングされます。

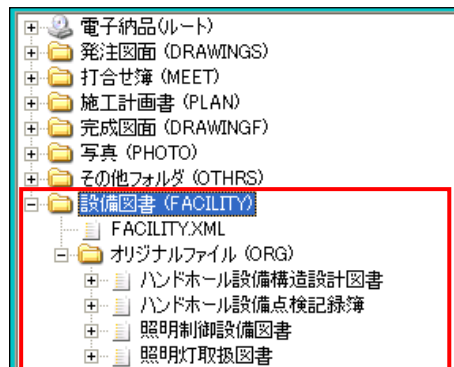


図 4-39 FACILITY ツリーのグルーピング

(10) K_BOOK グループニング

K_BOOK ツリーは、各完成図書フォルダ名称（固定）でグループニングされます。



図 4-40 K_BOOK ツリーのグループニング

(11) K_LDR グループニング

K_LDR ツリーは、台帳管理ファイルの『台帳名称』でグループニングされます。

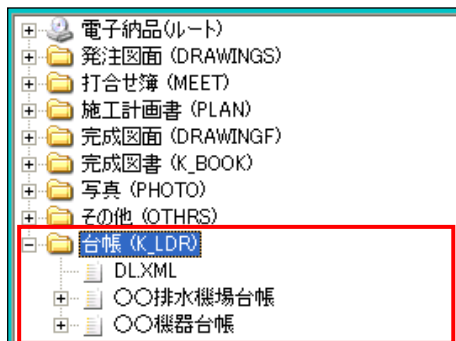


図 4-41 K_LDR ツリーのグループニング

(12) REGISTER グループニング

REGISTER ツリーは、台帳管理ファイルの『台帳フォルダ日本語名』でグループニングされます。

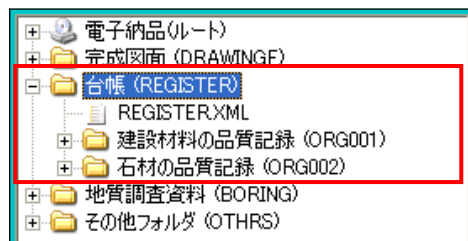


図 4-42 REGISTER ツリーのグループニング

4.6.4 横展開表示

(1) 電子納品媒体ツリーで各フォルダ配下の各管理ファイルをダブルクリックすると、「横展開表示」ウィンドウが表示されます。※INDEX_*.XMLは対象外です。

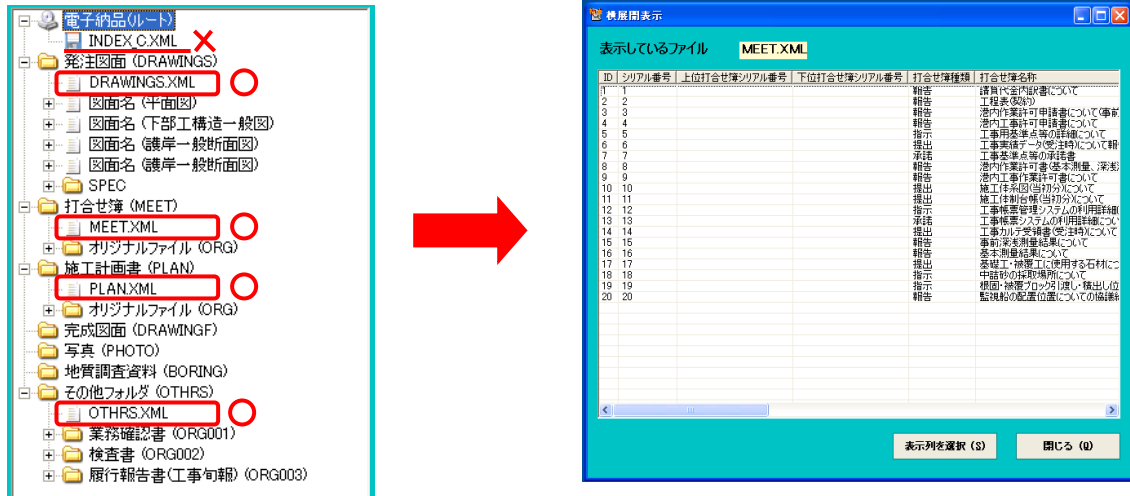


図 4-43 横展開表示ウィンドウ

(2) [表示列を選択(S)] をクリックすると、「横展開表示」の列表示項目を選択できます。

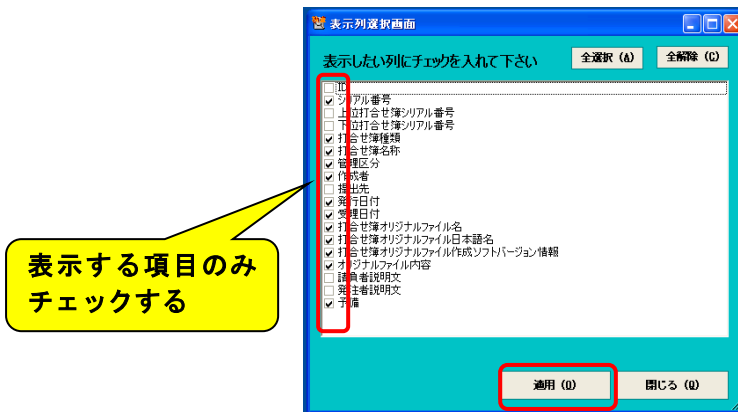


図 4-44 表示列選択画面

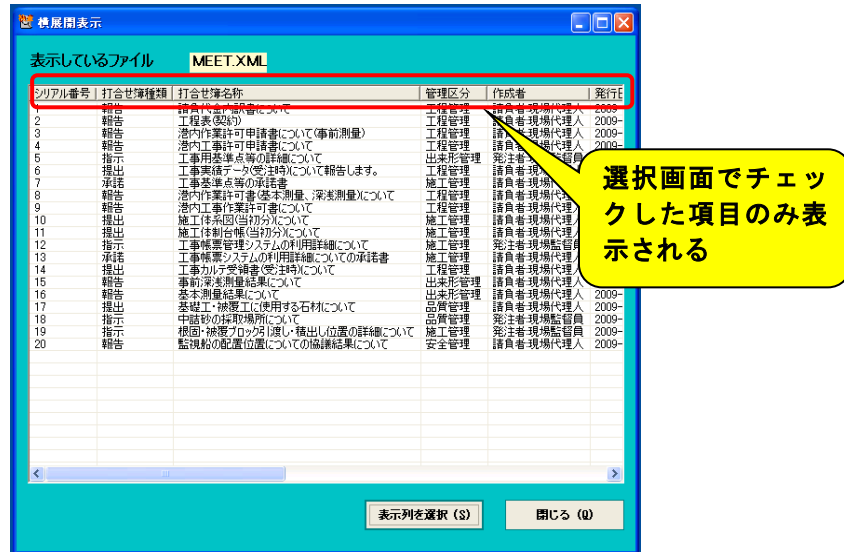


図 4-45 表示列選択後

(3) 一覧リストの項目名の部分をダブルクリックするとその項目で文字コード順に並べ替えが出来ます。目的の書類名称の検索等を効率的に行うために利用してください。

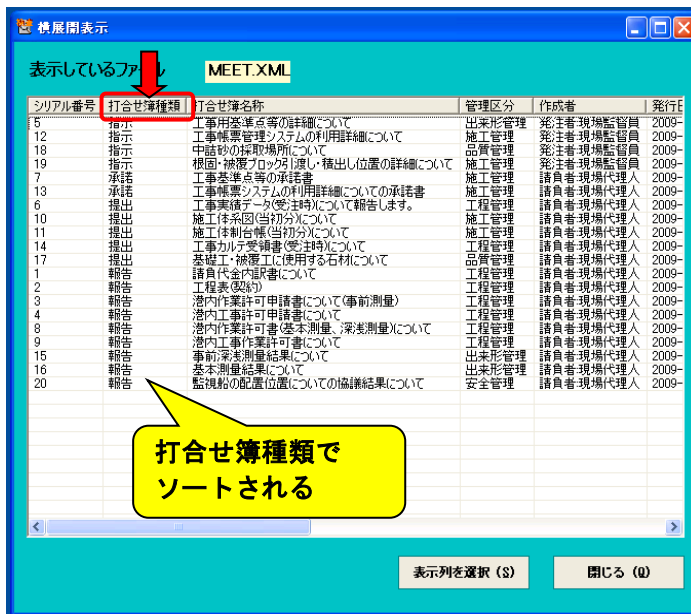


図 4-46 打合せ簿種類をソート表示

◇ 各行をダブルクリックすると、「絞込み表示」ウィンドウが表示されます。
→ 4.6.5 へ

4.6.5 絞込み表示

各書類アイコンをダブルクリックした場合、または、横展開表示（P.32 4.6.4）から行をダブルクリックした場合に、絞込み表示画面が表示されます。

絞込み表示では、各管理の内容のうち、該当する部分が抽出されて表示されます。

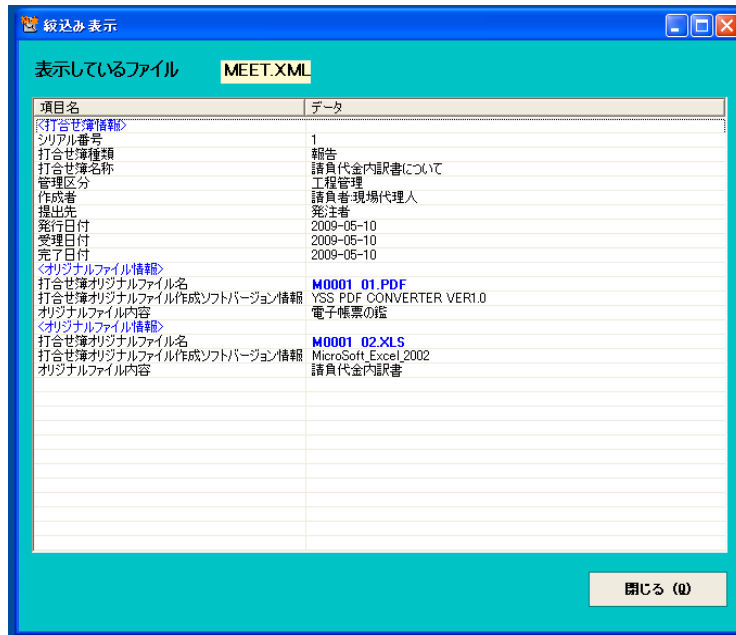


図 4-47 絞込み表示ウィンドウ

対象が工事写真（PHOTO）フォルダの場合は、
 上部分：写真区分／工種／種別／写真タイトル 項目
 下部分：対象画像
 が表示されます。



図 4-48 絞込み表示（PHOTO の場合）

4.6.6 詳細リスト

- (1) ツリー構造でフォルダの選択を行うと、そのフォルダに対応している管理ファイルの内容が一覧で表示されます。
最初の画面表示では、INDEX_*(C,D,EC,ED,MC,MD).XML の内容が表示されます。

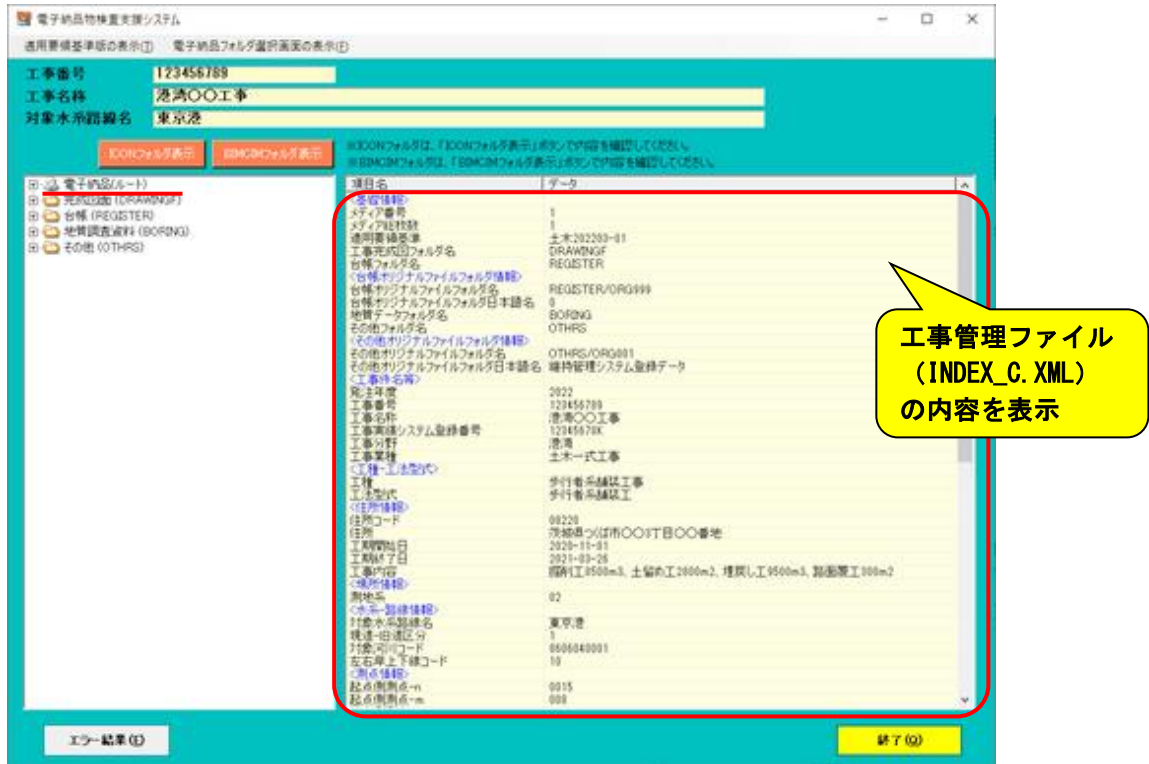


図 4-49 INDEX ファイルの内容表示

- (2) JPG、TIFF などの画像ファイルを選択した場合は、詳細リストの下部分に選択した画像が表示されます。上部分是对象 XML ファイルの内容を表示します。



図 4-50 画像ファイルを表示

- (3) 詳細リストのオリジナルファイル名（青色文字）をダブルクリックすると、オリジナルファイルに関連付けされたアプリケーションでファイルを開きます。

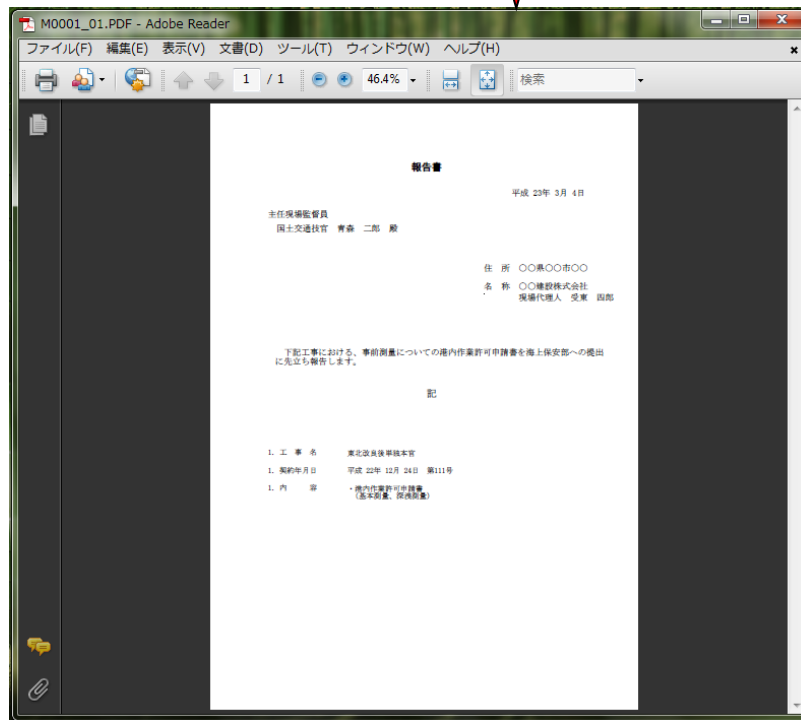
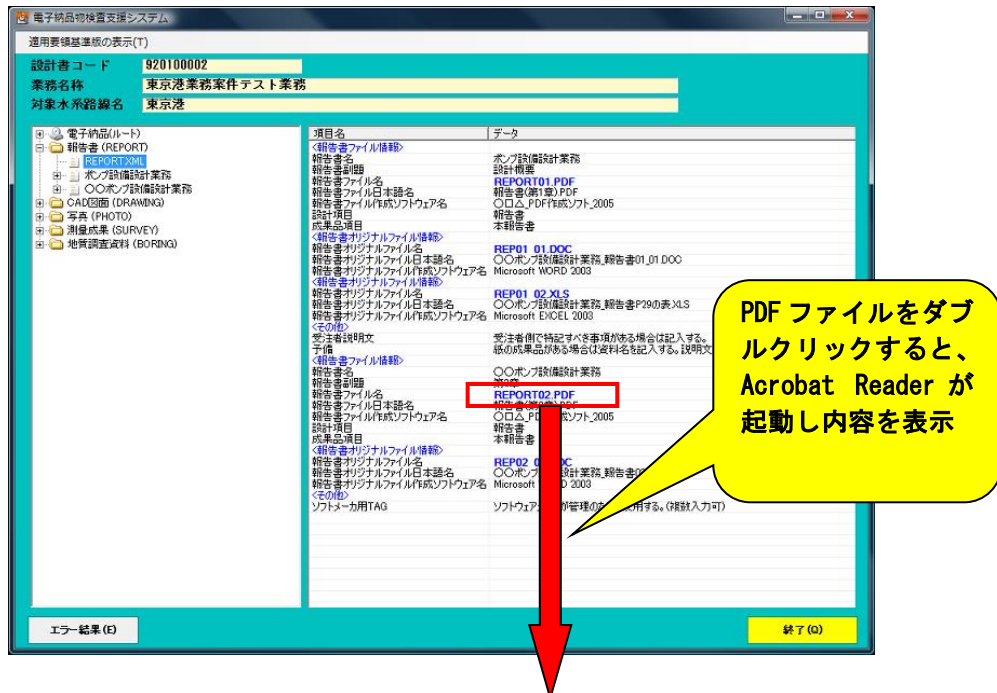


図 4-51 オリジナルファイルの起動

4.6.7 ICON・BIMCIM フォルダ表示ボタン

◇ ICON 及び BIMCIM フォルダは電子納品媒体ツリー上には表示されません。[ICON フォルダ表示] ボタンもしくは [BIMCIM フォルダ表示] をクリックすると、エクスプローラで該当フォルダを開きます。

※ボタンは ICON 又は BIMCIM 成果品チェックをしないと表示されません。



図 4-52 ICON フォルダ表示ボタン

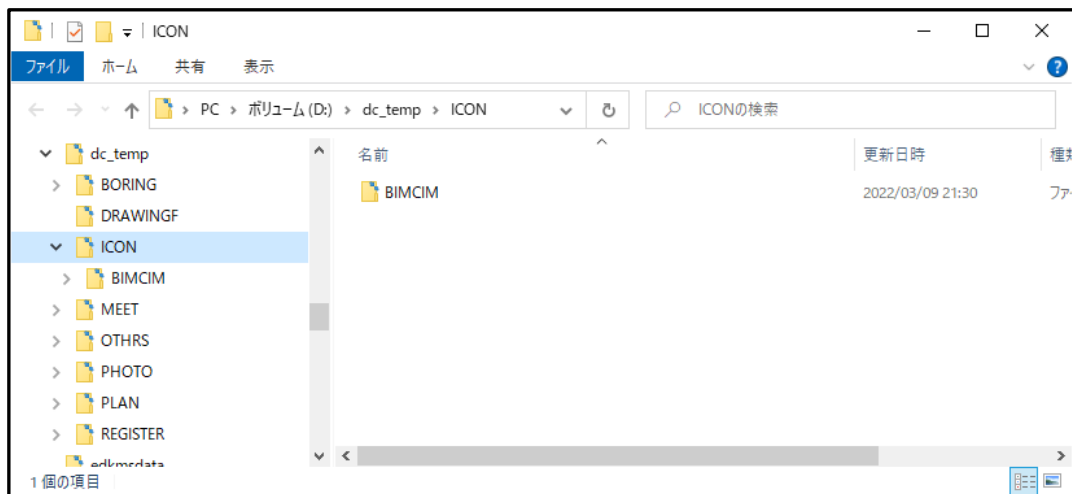


図 4-53 ICON・BIMCIM フォルダ

4.6.8 閲覧画面のボタン

- ◇ [エラー結果] ボタンをクリックするとエラー結果ダイアログが表示されます。
- ◇ [電子納品フォルダ選択画面の表示] メニューをクリックすると電子納品フォルダ選択画面が表示し、新たな電子成果品のチェックを行うことができます。
- ◇ [終了ボタン] をクリックすると、電子納品物検査支援システムが終了します。



図 4-54 閲覧画面のボタン

5 エラーメッセージ一覧表

5.1 使用文字列に関する基本的なエラー

エラーメッセージ	エラーへの対応
必須項目が記述されていません	必須項目タグ要素に何も記述されていないため、適切な内容を記載してください。
全角文字 {0} が使用されています ※ {0} は検出された全ての全角文字	全角文字が許可されていない箇所に全角文字が入っていますので、要領等を確認し、適切な文字を入力してください。
半角文字 {0} が使用されています ※ {0} は検出された全ての半角文字	半角文字が許可されていない箇所に半角文字が入っていますので、要領等を確認し、適切な文字を入力してください。
英大文字 {0} が使用されています ※ {0} は検出された全ての英大文字	英大文字が許可されていない箇所に英大文字が入っていますので、要領等を確認し、適切な文字を入力してください。
英小文字 {0} が使用されています ※ {0} は検出された全ての英小文字	英小文字が許可されていない箇所に英小文字が入っていますので、要領等を確認し、適切な文字を入力してください。
半角数字 {0} が使用されています ※ {0} は検出された全ての半角数字	半角数字が許可されていない箇所に半角数字が入っていますので、要領等を確認し、適切な文字を入力してください。
記述内容の文字数を「{0}」にして下さい ※ {0} は文字数	文字数が指定された文字数（固定）になっていないので、要領等を確認し、適切な文字数で入力してください。
規定文字数「{0}」を超えています ※ {0} は制限文字数	文字数が指定された文字数を超えていますので、要領等を確認し、適切な文字数以内で入力してください。
禁則文字 {0} が使用されています ※ {0} は検出された全ての禁則文字	禁則文字 (*1) が使われていますので、該当文字を削除するか、他の文字に置き換えてください。
「{0}」を記述して下さい ※ {0} は記述すべき文字列の期待値	指定した文字列が記述されていないので、要領等を確認し、固定文字列を入力してください。
「{0}」に「{1}」ファイルが存在しません。 ※ {0} はファイルが配置されるフォルダパス ※ {1} はファイル名	管理ファイルに記述されたファイル、要領・基準等に定められた必須ファイル、等が存在していないので、フォルダに当該ファイルを配置してください。
「{0}」に {1} が存在しません。 ※ {0} はファイルが配置されるフォルダパス ※ {1} はファイル名	管理ファイルに記述されたファイル、要領・基準等に定められた必須ファイル、等が存在していないので、フォルダに当該ファイルを配置してください。
「対象水系路線コード」タグがありません	管理ファイルに対象水系路線コードのタグが設定されていないので、確認してください。
「対象水系路線名」タグがありません	管理ファイルに対象水系路線名のタグが設定されていないので、確認してください。

(*1) 禁則文字は、以下の「使用可能文字」でない文字とする

[使用可能文字]

- ・半角文字…JIS X 0201 で規定されている文字から片仮名用図形文字を除いたラテン文字用図形文字。
- ・全角文字…JIS X 0208 で規定されている文字の内、以下の文字。
 - ・ 3 区を除く SJIS にエンコード可能な文字
 - または
 - ・ ベンダー拡張領域の中にある漢字。

(港湾システムでは、官房版の仕様可能文字の仕様を基としつつ、ベンダー拡張領域の漢字を使用可能文字に加える仕様としている。

※参考 官房版電子納品要領 使用可能文字

<http://www.cals-ed.go.jp/mg/wp-content/uploads/const92.pdf>

8-2 使用文字

- ・ 使用できる半角文字は、JIS X 0201 で規定されている文字から片仮名用図形文字を除いたラテン文字用図形文字のみとする。
- ・ 使用できる全角文字は、JIS X 0208 で規定されている文字から数字とラテン文字を除いた文字のみとする。

5.2 固定文字列に関するエラー

5.2.1 INDEX_C, INDEX_EC, INDEX_MC, INDEX_D, INDEX_ED, INDEX_MD

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
その他オリジナルファイルフォルダ名	命名規則に違反しています。「OTHERS/ORGnnn」にしてください。	<基礎情報> - <その他オリジナルフォルダ情報> - <その他オリジナルファイルフォルダ名>の値は「OTHERS/ORGnnn」(nは0～9の数値)にしてください。
台帳オリジナルファイルフォルダ名	命名規則に違反しています。「REGISTER/ORGnnn」にしてください。	<基礎情報> - <台帳オリジナルファイルフォルダ情報> - <台帳オリジナルファイルフォルダ名>の値を「REGISTER /ORGnnn」(nは0～9の数値)にしてください。
発注年度	西暦4桁で記入して下さい。	<工事件名等> - <発注年度>の値は0000～9999の数値にしてください。
測地系	「00 (日本測地系)」か「01 (世界測地系)」のいずれかを記入して下さい。	<場所情報> - <測地系>の値は00 または 01 にしてください。
測地系	「00 (日本測地系)」「01 (世界測地系: JGD2000)」「02 (世界測地系: JGD2011)」のいずれかにして下さい。	<場所情報> - <測地系>の値は00 または 01 または 02 にしてください。 ※H28_03版
現道-旧道区分	「1: 現道」「2: 旧道」「3: 新道」「0: 未調査」のいずれかを記入して下さい。	<場所情報> - <水系-路線情報> - <現道-旧道区分> の値は 0～3の数値にしてください。
左右岸上下線コード	左右岸上下線コード「00～03」「10」「20」「30」「99」のいずれかを記入して下さい。	<場所情報> - <水系-路線情報> - <左右岸上下線コード> の値は00～03, 10, 20, 30, 99の数値にしてください。
西(東・北・南)側境界座標経度	頭文字にハイフン「-」を含めて8桁(又は4桁)の数値を記入して下さい。	<場所情報> - <境界座標情報> - <西(東・北・南)側境界座標経度> の値は頭文字にハイフン「-」を含めて8桁(又は4桁)の数値にしてください。
施設情報平面直角座標X座標、Y座標	頭文字にハイフン「-」を含めて11桁以内の数値を記入して下さい。	<施設情報> - <平面直角座標> - <施設情報平面直角座標X座標もしくはY座標>の値は頭文字にハイフン「-」を含めて11桁以内の数値にしてください。
施設情報平面直角座標系番号	施設情報平面直角座標は、「1」から「19」もしくは、「01」から「19」でなければいけません。	<施設情報> - <平面直角座標> - <施設情報平面直角座標系番号>の値は「1」から「19」もしくは、「01」から「19」の数値にしてください。

5.2.2 MEET

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
シリアル番号	先頭にゼロをつけないで下さい。	<打合せ簿情報> - <シリアル番号> の属性「上位（下位）打合せ簿シリアル番号」の値の先頭は0以外になります。
打合せ簿種類	「指示」、「承諾」、「協議」、「提出」、「提示」、「報告」、「通知」、「その他」の中から選んで記入して下さい。	<打合せ簿情報> - <打合せ簿種類> の値は「指示」、「承諾」、「協議」、「提出」、「提示」、「報告」、「通知」、「その他」から選択します。
打合せ簿種類	「指示」、「承認」、「協議」、「提出」、「提示」、「報告」、「通知」の中から選んで記入して下さい。	<打合せ簿情報> - <打合せ簿種類> の値は「指示」、「承認」、「協議」、「提出」、「提示」、「報告」、「通知」から選択します。 ※H18_03版（機械設備工事編）
打合せ簿種類	「指示」、「承諾」、「協議」、「提出」、「報告」、「通知」、「確認」、「立会」、「その他」の中から選んで記入して下さい。	<打合せ簿情報> - <打合せ簿種類> の値は「指示」、「承諾」、「協議」、「提出」、「報告」、「通知」、「確認」、「立会」、「その他」から選択します。 ※H22_09版
打合せ簿オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。「Mnnnn_mm.*」にして下さい。	<打合せ簿情報> - <打合せ簿オリジナルファイル名> の値は「Mnnnn_mm.*」になります。
工事帳票種類	「打合せ簿」、「工事履行報告書」、「材料確認願」、「段階確認書」、「確認・立会願」の中から選んで記入して下さい。	<打合せ簿情報> - <工事帳票種類> の値は「打合せ簿」、「工事履行報告書」、「材料確認願」、「段階確認書」、「確認・立会願」から選択します。

5.2.3 PLAN

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
シリアル番号	先頭にゼロをつけないで下さい。	<施工計画書情報> - <シリアル番号> の値の先頭は0以外になります。
施工計画書オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。「PLAnn_mm.*」にして下さい。	<施工計画書情報>- <オリジナルファイル情報>- <施工計画書オリジナルファイル名>の値は「PLAnn_mm.*」になります。

5.2.4 OTHERS

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
その他サブフォルダ名	命名規則に違反しています。「ORGnnn」にして下さい。	<サブフォルダ情報>- <その他サブフォルダ名>の値は「ORGnnn」になります。
シリアル番号	先頭にゼロをつけないで下さい。	<サブフォルダ情報> - <その他資料情報>- <オリジナルファイル情報> - <シリアル番号>の値の先頭は0以外になります。

5.2.5 DRAWING

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測地系	「00（日本測地系）」か「01（世界測地系）」のいずれかを記入して下さい。	〈図面情報〉 - 〈基準点情報〉 - 〈測地系〉 の値は 00 または 01 になります。
測地系	「00（日本測地系）」「01（世界測地系：JGD2000）」「02（世界測地系：JGD2011）」のいずれかにして下さい。	〈図面情報〉 - 〈基準点情報〉 - 〈測地系〉 の値は 00 または 01 または 02 になります。 ※H28_03 版
基準点情報緯度	頭文字にハイフン「-」を含めて8桁（又は4桁）の数値を記入して下さい。	〈図面情報〉 - 〈基準点情報〉 - 〈基準点情報緯度〉の値は、頭文字にハイフン「-」を含めて8桁（又は4桁）の数値になります。
新規レイヤ	レイヤ名の命名規則に違反しています。CAD製図基準でご確認下さい。	〈図面情報〉 - 〈その他〉 - 〈新規レイヤ〉 - 〈新規レイヤ-略語〉の値は、CAD製図基準のレイヤ名命名規則を参照して記入します。
工期終了日	CCYY-MM-DD（西暦年月日）で記入して下さい。月日が1桁の場合、0を付加して必ず10桁で記入して下さい。	〈図面情報〉 - 〈工期終了日〉 の値は CCYY-MM-DD（西暦年月日）形式の値を入れます。

5.2.6 PHOTO

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
シリアル番号	先頭にゼロをつけないで下さい。	〈写真情報〉 - 〈写真ファイル情報〉 - 〈シリアル番号〉の値の先頭は0以外になります。
写真-大分類	「工事」、「測量」、「調査」、「地質」、「広報」、「設計」、「その他」の中から選んで記入して下さい。	〈写真情報〉 - 〈撮影工種区分〉 - 〈写真-大分類〉の値は「工事」、「測量」、「調査」、「地質」、「広報」、「設計」、「その他」から選択してください。
代表写真	代表写真の場合は「1」、それ以外は「0」を記入して下さい。	〈写真情報〉 - 〈代表写真〉 の値は左記条件により 1 または 0 になります。
提出頻度写真	提出頻度写真の場合は「1」、それ以外は「0」を記入して下さい。	〈写真情報〉 - 〈提出頻度写真〉 の値は左記条件により 1 または 0 になります。
写真ファイル名	命名規則に違反しています。「Pnnnnnnn.*」（nnnnnnnは半角英数大文字またはアンダースコア7文字以内、拡張子は半角英数大文字またはアンダースコア4文字以内）にして下さい。	〈写真情報〉 - 〈写真ファイル情報〉 - 〈写真ファイル名〉 の値は「Pnnnnnnn.????」になります。
参考図ファイル名	命名規則に違反しています。「Dnnnnnnn.*」（nnnnnnnは半角英数大文字またはアンダースコア7文字以内、拡張子は半角英数大文字またはアンダースコア4文字以内）にして下さい。	〈写真情報〉 - 〈付加情報〉 - 〈参考図ファイル名〉の値は「Dnnnnnnn.????」になります。
参考図ファイル名	命名規則に違反しています。「Dnnnnnnn.*」にして下さい。	〈写真情報〉 - 〈付加情報〉 - 〈参考図ファイル名〉の値は「Dnnnnnnn.*」になります。 ※H22_09 版

5.2.7 REPORT

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
報告書ファイル名	報告書ファイル名が命名規則に違反しています。「REPORTnn.PDF」(nnは連番)にしてください。	<報告書ファイル情報> - <報告書ファイル名>の値は「REPORTnn.PDF」になります。
報告書オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。「REPnn_mm.*」にしてください。	<報告書ファイル情報> - <報告書オリジナルファイル情報> - <報告書オリジナルファイル名>の値は「REPnn_mm.XXX」になります。

5.2.8 OPENREP

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
公開用成果品ファイル名	公開用成果品ファイル名が命名規則に違反しています。「OPREPnn.PDF」(nnは連番)にしてください。	<公開用成果品ファイル情報> - <公開用成果品ファイル名>の値は「OPREPnn.PDF」になります。

5.2.9 SURVEY

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
画像種別	「1」か「2」にしてください。	<測量情報> - <画像種別>の値は1または2になります。
アナログデジタル区分	「1」か「2」にしてください。	<測量情報> - <アナログデジタル区分>の値は1または2になります。
新規修正区分	「1」「2」「3」のいずれかにしてください。	<測量情報> - <新規修正区分>の値は1または2または3になります。
測量区分	「基準点測量・水準測量・地形測量・路線測量・河川測量・用地測量」のいずれかを入力してください。	<測量情報> - <測量区分>の値は「基準点測量・水準測量・地形測量・路線測量・河川測量・用地測量」から選択します。 ※H16_06版
測量区分	「基準点測量・水準測量・地形測量及び写真測量・路線測量・河川測量・用地測量・その他の応用測量」のいずれかを入力してください。	<測量情報> - <測量区分>の値は「基準点測量・水準測量・地形測量及び写真測量・路線測量・河川測量・用地測量・その他の応用測量」から選択します。 ※H22_09版
第三者機関成果検定の有無	「第三者機関成果検定の有無」を示す値が誤っています。「0」又は「1」にしてください。	<基礎情報> - <第三者機関成果検定の有無>の値は0または1になります。

5.2.10 SURV_KTN, SURV_SJN..., SURV_* (SURVEY 配下)

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測量成果区分フォルダ名	測量成果区分フォルダの名称が誤っています。「WORK」「DATA」「OTHR」のいずれかにしてください。	<測量成果情報> - <測量成果区分フォルダ名>の値は「WORK」「DATA」「OTHR」から選択します。

5. 2. 11 SURV_DOC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ドキュメントファイル名	命名規則に違反しています。	<ドキュメント情報> - <ドキュメントファイル名> の値は SPECP 、 SPECS 又は MEETS で始まる PDF ファイル名か、 SUVRP で始まるファイル名になります。

5. 2. 12 BORING

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ボーリング交換用データファイル名	ボーリング交換用データファイル名が命名規則に違反しています。 「BEDNNNN.XML」(NNNN は 0001 から始まる連番) にして下さい。	<ボーリング情報> - <ボーリング交換用データ> - <ボーリング交換用データファイル名> の値は「BEDNNNN.XML」になります。
電子柱状図ファイル名	電子柱状図ファイル名が命名規則に違反しています。 「BRGNNNN.PDF」(NNNN は 0001 から始まる連番) にして下さい。	<ボーリング情報> - <電子柱状図> - <電子柱状図ファイル名> の値は「BRGNNNN.PDF」になります。
電子簡略柱状図ファイル名	電子簡略柱状図ファイル名が命名規則に違反しています。 「BRGNNNN.*」(NNNN は 0001 から始まる連番) にして下さい。	<ボーリング情報> - <電子簡略柱状図> - <電子簡略柱状図ファイル名> の値は「BRGNNNN.*」になります。
測地系	「00(日本測地系)」「01(世界測地系: JGD2000)」「02(世界測地系: JGD2011)」のいずれかにして下さい。	<ボーリング情報> - <測地系> の値は 00 または 01 または 02 になります。 ※H28_10 版

5. 2. 13 GRNDTST

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ボーリング交換用データファイル名	ボーリング交換用データファイル名が命名規則に違反しています。「BEDNNNN.XML」(NNNN は 0001 から始まる連番) にして下さい。	<試験情報> - <ボーリング交換用データファイル名> の値は「BEDNNNN.XML」になります。
電子土質試験結果一覧表ファイル名	電子土質試験結果一覧表ファイル名が命名規則に違反しています。「STBNNNN.PDF」又は「STANNNN.PDF」又は「STSNNNN.PDF」(NNNN は 0001 から始まる連番) にして下さい。	<試験情報> - <電子土質試験結果一覧表ファイル名> の値は「STBNNNN.PDF」又は「STANNNN.PDF」又は「STSNNNN.PDF」になります。
土質試験結果一覧表データファイル名	土質試験結果一覧表データファイル名が命名規則に違反しています。「STBNNNN.XML」又は「STANNNN.XML」又は「STSNNNN.XML」(NNNN は 0001 から始まる連番) にして下さい。	<試験情報> - <土質試験結果一覧表データファイル名> の値は「STBNNNN.XML」又は「STANNNN.XML」又は「STSNNNN.XML」になります。
電子データシートファイル名	電子データシートファイル名が命名規則に違反しています。「TSNNNMMM.PDF」(NNN は 001 から始まる連番、MMM は 001 から始まる連番) にして下さい。	<試験情報> - <各種試験情報> - <電子データシートファイル名> の値は「TSNNNMMM.PDF」になります。
データシート交換用データファイル名	データシート交換用データファイル名が命名規則に違反しています。「TSNNNMMM.XML」(NNN は 001 から始まる連番、MMM は 001 から始まる連番) にして下さい。	<試験情報> - <各種試験情報> - <データシート交換用データファイル名> の値は「TSNNNMMM.XML」になります。
デジタル試料供試体写真ファイル名	デジタル試料供試体写真ファイル名が命名規則に違反しています。「SNNNMMMK.JPG」(NNN は 001 から始まる連番、MMM は 001 から始まる連番、K は 1 から始まる整理番号)	<試験情報> - <各種試験情報> - <デジタル試料供試体写真ファイル名> の値は「SNNNMMMK.JPG」になります。
測地系	「00(日本測地系)」「01(世界測地系: JGD2000)」「02(世界測地系: JGD2011)」のいずれかにして下さい。	<ボーリング情報> - <測地系> の値は 00 または 01 または 02 になります。 ※H28_10 版

5.2.14 STLIST

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
経緯度読取精度	「0」「1」「2」「3」「4」のいずれかにして下さい。	〈標題情報〉 - 〈位置情報〉 - 〈経緯度読取精度〉の値は 0~4 の数値になります。
試料採取情報	「0」か「1」にして下さい。	〈試験情報〉 - 〈試料情報〉 - 〈試料採取情報〉の値は 0, 1 の数値になります。
試料の状態	「1~8」のいずれかにして下さい。	〈試験情報〉 - 〈試料情報〉 - 〈試料の状態〉の値は 1~8 の数値になります。
経緯度取得方法_コード	「01」「02」「03」「09」のいずれかにして下さい。(01: 測量(GPS 測量含む)、02: 地形図読み取り、03: 単独測位 GPS システム、09: その他の方法・不明)	〈標題情報〉 - 〈位置情報〉 - 〈経緯度取得方法〉 - 〈経緯度取得方法_コード〉の値は「01」「02」「03」「09」の数値になります。
公開フラグ_コード	「0」か「1」にして下さい。	〈基礎情報〉 - 〈公開フラグ〉 - 〈公開フラグ_コード〉の値は 0, 1 の数値になります。
測地系	「00(日本測地系)」「01(世界測地系: JGD2000)」「02(世界測地系: JGD2011)」のいずれかにして下さい。	〈標題情報〉 - 〈位置情報〉 - 〈測地系〉の値は 00 または 01 または 02 になります。 ※H28_10 版
試料連番	先頭にゼロをつけないで下さい。	〈試験情報〉 - 〈試料連番〉が入力桁に満たない場合、上位桁に 0 を入力しないでください。例えば、1 の場合、001 と入力せずに 1 と入力します。 ※H28_10 版

5.2.15 BS

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
実施仕様書オリジナルファイル名	B 実施仕様書ファイルの命名規則に違反しています。「BSnnn_m.PDF」にして下さい。	〈実施仕様書情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈実施仕様書オリジナルファイル名〉の値は「BSnnn_m.PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 17 桁のコードにして下さい。	〈実施仕様書情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈施設コード〉の値は「Z」もしくは 17 桁の半角英数字になります。

5. 2. 16 BC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
計算書オリジナルファイル名	B 計算書・検討書・数量表ファイルの命名規則に違反しています。「BCnnn_m. PDF」にしてください。	<計算書情報> - <オリジナルファイル情報> - <計算書オリジナルファイル名> の値は「BCnnn_m. PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 17 桁のコードにしてください。	<計算書情報> - <オリジナルファイル情報> - <施設コード> の値は「Z」もしくは 17 桁の半角英数字になります。

5. 2. 17 BD

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
機器コード	機器コードが規定のコードではありません。「ZZ」もしくは「電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 10 桁のコードにしてください。	<機器図情報> - <オリジナルファイル情報> - <機器コード> の値は「ZZ」もしくは 10 桁の半角英数字になります。
機器図オリジナルファイル名	B 機器図ファイルの命名規則に違反しています。「BDnnn_m. PDF」にしてください。	<機器図情報> - <オリジナルファイル情報> - <機器図オリジナルファイル名> の値は「BDnnn_m. PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 17 桁のコードにしてください。	<機器図情報> - <オリジナルファイル情報> - <施設コード> の値は「Z」もしくは 17 桁の半角英数字になります。

5. 2. 18 BI

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施工図オリジナルファイル名	B 施工図ファイルの命名規則に違反しています。「BIinnn_m. PDF」にしてください。	<施工図情報> - <オリジナルファイル情報> - <施工図オリジナルファイル名> の値は「BIinnn_m. PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 17 桁のコードにしてください。	<施工図情報> - <オリジナルファイル情報> - <施設コード> の値は「Z」もしくは 17 桁の半角英数字になります。

5. 2. 19 BE

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施工管理記録書オリジナルファイル名	B 施工管理記録書ファイルの命名規則に違反しています。「BE n nn m . PDF」にしてください。	<施工管理記録書情報> - <オリジナルファイル情報> - <施工管理記録書オリジナルファイル名>の値は「BE n nn m . PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 17 桁のコードにしてください。	<施工管理記録書情報> - <オリジナルファイル情報> - <施設コード> の値は「Z」もしくは 17 桁の半角英数字になります。
機器コード	機器コードが規定のコードではありません。「ZZ」もしくは「電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 14 桁のコードにしてください。	<施工管理記録書情報> - <オリジナルファイル情報> - <機器コード> の値は「ZZ」もしくは 14 桁の半角英数字になります。

5. 2. 20 BM

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
取扱説明書オリジナルファイル名	B 取扱説明書ファイルの命名規則に違反しています。「BM n nn m . PDF」にしてください。	<取扱説明書情報> - <オリジナルファイル情報> - <取扱説明書オリジナルファイル名> の値は「BM n nn m . PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 17 桁のコードにしてください。	<取扱説明書情報> - <オリジナルファイル情報> - <施設コード> の値は「Z」もしくは 17 桁の半角英数字になります。
機器コード	機器コードが規定のコードではありません。「ZZ」もしくは「電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 14 桁のコードにしてください。	<取扱説明書情報> - <オリジナルファイル情報> - <機器コード> の値は「ZZ」もしくは 14 桁の半角英数字になります。

5. 2. 21 DL

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 17 桁のコードにしてください。	<台帳情報> - <オリジナルファイル情報> - <施設コード> の値は「Z」もしくは 17 桁の半角英数字になります。

5. 2. 22 COREPIC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
写真ファイル名	デジタルコア写真ファイル名が命名規則に違反しています。 「CNNNNMMM.JPG」(NNNN は 0001 から始まる連番、MMM は 001 から始まる連番) 又は「RKKKKLLL.JPG」(KKKK は 0001 から始まる連番、LLL は 001 から始まる連番) にして下さい。	〈デジタルコア写真情報〉 - 〈写真ファイル名〉の値は「CNNNNMMM.JPG」又は「RKKKKLLL.JPG」になります。
撮影年月日	CCYY-MM-DD (西暦年月日) で記入して下さい。月日が 1 桁の場合、0 を付加して必ず 10 桁で記入して下さい。	〈デジタルコア写真情報〉 - 〈撮影年月日〉の値は CCYY-MM-DD (西暦年月日) 形式の値を入れます。
写真ファイル名	ボーリングコア写真ファイル名が命名規則に違反しています。 「CNNNNMMM.JPG」(NNNN は 0001 から始まる連番、MMM は 001 から始まる連番) 又は「RKKKKLLL.拡張子」(KKKK は 0001 から始まる連番、LLL は 001 から始まる連番、拡張子はファイル形式が任意) にして下さい。	〈ボーリングコア写真ファイル名〉 - 〈写真ファイル名〉の値は「CNNNNMMM.JPG」又は「RKKKKLLL.拡張子」になります。 ※H28_10 版

5. 2. 23 FACILITY

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
設備図書オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。「FCLnn_mm.*」にして下さい。	〈設備図書情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈設備図書オリジナルファイル名〉の値は「FCLnn_mm.*」になります。

5. 2. 24 OTHERFILES

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
電子データファイル名	命名規則に違反しています。ファイル名称は半角英数大文字 8 文字以内、拡張子は半角英数大文字 4 文字以内にして下さい。	〈その他電子情報〉 - 〈電子データファイル名〉の値は、ファイル名 8 文字以内、拡張子 4 文字以内になります。また、使用できる文字種類は半角英数大文字です。

5.2.25 REGISTER、REGIST_M

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
台帳種類	「0」「1」「2」「3」のいずれかにして下さい。(1：施設台帳、2：機器台帳、3：その他管理台帳)	<ファイル情報> - <台帳種類> の値は1～3の数値になります。 ※REGIST_M
台帳サブフォルダ	命名規則に違反しています。「ORGnnn」にして下さい。	<サブフォルダ情報> - <台帳サブフォルダ名> の値は「ORGnnn」(nは0～9の数値)にしてください。
資料オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。「REGnn_mm.*」にして下さい。	<サブフォルダ情報> - <資料情報> - <資料オリジナルファイル情報> - <資料オリジナルファイル名> の値は「REGnn_mmm.*」(nは0～9の数値、mは0～9の数値)にしてください。
着手前写真ファイル	命名規則に違反しています。「PRE-PIC.JPG」にして下さい。	着手前写真ファイル名は「PRE-PIC.JPG」にして下さい。
完成写真ファイル	命名規則に違反しています。「POST-PIC.JPG」にして下さい。	完成写真ファイル名は「POST-PIC.JPG」にして下さい。
シリアル番号	先頭にゼロをつけないで下さい。	<サブフォルダ情報> - <資料情報> - <資料オリジナルファイル情報> - <シリアル番号> の値の先頭は0以外になります。

5.3 複雑なチェックに関するエラー

5.3.1 INDEX_C, INDEX_EC, INDEX_MC, INDEX_D, INDEX_ED, INDEX_MD

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
その他オリジナルファイルフォルダ名	その他オリジナルファイルフォルダ名に {0} が含まれていません。	<その他オリジナルファイルフォルダ名>には、左記の {0} (ORG001、ORG002、ORG003 等) の記述が必要となります。
工事分野	「{0}」はコリンズの工事分野に存在しない名称です。 ※ {0} は工事分野の名称	<工事件名等> - <工事分野> の値 (名称) はコリンズの工事分野から選択します。(*1)
工事業種	「{0}」はコリンズの工事業種に存在しない名称です。 ※ {0} は工事業種の名称	<工事件名等> - <工事業種> の値 (名称) はコリンズの「本件登録工事の受注に対応した建設許可業種」から選択します。(*1)
工種	「{0}」はコリンズの工事工種に存在しない名称です。 ※ {0} は工事工種の名称	<工事件名等> - <工種-工法型式> - <工種>はコリンズの「工種、工法形式」の「工種」から選択します。(*1)
工法型式	「{0}」はコリンズの工事工法・型式に存在しない名称です。 ※ {0} は工事工法・型式の名称	<工事件名等> - <工種-工法型式> - <工法型式>はコリンズの「工種、工法形式」の「工法・形式」から選択します。(*1)
住所コード	「{0}」は住所コードに存在しないコードです。 ※ {0} は施工場所コード	(H22.9 要領)住所コードは JIS に対応した 5 桁のコードを入力します。 (H22.9 要領以外) 住所コードはコリンズの施工場所コードから選択します。(*1)
対象水系路線コード	「{0}」は港湾コード一覧表に存在しないコードです。 ※ {0} は対象水系路線名もしくは業務対象水系路線等コード	対象水系路線名もしくは業務対象水系路線等コードは、「港湾・海岸・空港コード」及び「港湾・海岸・空港名称」を入力します。(*2)
対象水系路線名	「{0}」は港湾コード一覧表に存在しない名称です。 ※ {0} は業務対象水系路線名	業務対象水系路線名は、「港湾・海岸・空港名称」を入力します。(*2)
施設コード	施設コードが不正です。ガイドラインをご確認ください。	施設コードは「施設情報コード一覧」に記載されているコードを入力します。(*2)
緯度経度 平面直角座標	施設情報の「緯度経度」「平面直角座標」が併記されています。どちらか一方のみを記述してください。	「緯度経度」「平面直角座標」のどちらか一方のみを記述します。
発注者コード	発注者コードには、国土交通省地方整備局（港湾空港関係）直轄機関のコードを記入してください。 ※ {0} は発注者コード	発注者コードはコリンズの「発注機関コード」から選択します。(*1)
発注者機関コード	発注者機関コードには、国土交通省地方整備局（港湾空港関係）直轄機関のコードを記入してください。 ※ {0} は発注者コード	発注者機関コードはコリンズの「発注機関コード」から選択します。(*1)

(*1) コリンズの項目名称 : http://www.cals-ed.go.jp/H2803_code/

(*2) 地方整備局（港湾空港関係）の事業における電子納品運用ガイドライン【資料編】

の「資料-1 港湾・海岸・空港コード一覧表」: <https://www.ysk.nilim.go.jp/cals/05download/chap05.html>

5.3.2 BS

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
実施仕様書オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は3-7 ケタ目の値	〈実施仕様書情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈実施仕様書オリジナルファイル名〉の3-7 ケタ目が重複しているため、連番にします。

5.3.3 BC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
計算書オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は3-7 ケタ目の値	〈計算書情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈計算書オリジナルファイル名〉の3-7 ケタ目が重複しているため、連番にします。

5.3.4 BI

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施工図オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は3-7 ケタ目の値	〈施工図情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈施工図オリジナルファイル名〉の3-7 ケタ目が重複しているため、連番にします。

5.3.5 BD

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
機器図オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は3-7 ケタ目の値	〈機器図情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈機器図オリジナルファイル名〉の3-7 ケタ目が重複しているため、連番にします。

5.3.6 BE

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施工管理記録書オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は3-7 ケタ目の値	〈施工管理記録書情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈施工管理記録書オリジナルファイル名〉の3-7 ケタ目が重複しているため、連番にします。

5.3.7 BM

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
取扱説明書オリジナルファイル名	3-7ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は3-7ケタ目の値	〈取扱説明書情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈取扱説明書オリジナルファイル名〉の3-7ケタ目が重複しているので、連番にします。

5.3.8 MEET

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
打合せ簿オリジナルファイル名	打合せ簿オリジナルファイル名の連番ルールに違反しています(ベースファイル名「{0}」が重複しています)。 ※{0}はベースファイル名	〈打合せ簿情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈打合せ簿オリジナルファイル名〉の連番部分に重複したデータがあるので、連番にします。
シリアル番号	「{0}」が重複しています。シリアル番号が命名規則(連番)に違反しています。 ※{0}はシリアル番号	〈打合せ簿情報〉 - 〈シリアル番号〉は重複しない番号にします。
打合せ簿オリジナルファイル名	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ「{0}」の中に、打合せ簿管理ファイル「MEET.XML」に記述された打合せ簿オリジナルファイルがありません。 ※{0}は打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	〈打合せ簿情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈打合せ簿オリジナルファイル名〉は打合せ簿オリジナルファイルに存在するが実在ファイルを指定します。

5.3.9 PLAN

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施工計画書オリジナルファイル名	施工計画書オリジナルファイル名の連番ルールに違反しています(ベースファイル名「{0}」が重複しています)。 ※{0}はベースファイル名	〈施工計画書情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈施工計画書オリジナルファイル名〉の連番部分(ベースファイル名)は重複しない連番を指定します。
シリアル番号	「{0}」が重複しています。シリアル番号が命名規則(連番)に違反しています。 ※{0}はシリアル番号	〈施工計画書情報〉 - 〈シリアル番号〉は重複しない値を指定します。
施工計画書オリジナルファイル名	施工計画書オリジナルファイルフォルダ「{0}」の中に施工計画書管理ファイル「PLAN.XML」に記述された施工計画書オリジナルファイルがありません。 ※{0}は施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	〈施工計画書情報〉 - 〈オリジナルファイル情報〉 - 〈施工計画書オリジナルファイル名〉はオリジナルファイルが実在するファイルを指定します。

5.3.10 OTHERS

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
その他サブフォルダ名	その他サブフォルダ名に「{0}」が含まれていません。 ※{0}はチェックするフォルダ名 (ORG001, ORG002 等)	<サブフォルダ情報> - <その他サブフォルダ名>の値に、左記の{0} (ORG001、ORG002、ORG003 等) のフォルダが必要となります。
シリアル番号	同一サブフォルダ内でシリアル番号「{0}」が重複しています。 ※{0}はシリアル番号	<サブフォルダ情報> - <その他資料情報> - <オリジナルファイル 情報> - <シリアル番号>の値は同一サブフォルダで重複しない値 にします。
オリジナルファイル名	オリジナルファイル名の連番ルールに違反しています(ベースフ ァイル名「{0}」が重複しています)。 ※{0}はベースファイル名	<サブフォルダ情報> - <その他資料情報> - <オリジナルファイル 名> の値の連番部分は、重複しない名前にします。
オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。1-3 桁目を「{0}」にして下さい。 ※{0}は関数の引数に指定された、1-3 桁目に入るべき値 (CHK また は PRG)	<サブフォルダ情報> - <その他資料情報> - <オリジナルファイル 名> の 1-3 桁目は港湾空港関係の事業では、「CHK」または「PRG」 にします。 ※<オリジナルファイル名>のチェック形式は ORG001、ORG002 の場合は「CHKnn_mm. XXX」、ORG003 の場合は 「PRGnn_mm. XXX」となります。
オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。4 桁目以降の記述に誤りがあります。	<サブフォルダ情報> - <その他資料情報> - <オリジナルファイル 名> の 4 桁目以降は「nn_mm. XXX」の形式にします。
オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。4-5 桁目は「00」となってはいけませ ん。	<サブフォルダ情報> - <その他資料情報> - <オリジナルファイル 名> の値の 4-5 桁目は「00」以外の値にします。
オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。7-8 桁目は「00」となってはいけませ ん。	<サブフォルダ情報> - <その他資料情報> - <オリジナルファイル 名> の値の 7-8 桁目は「00」以外の値にします。
オリジナルファイル名	その他資料オリジナルファイルフォルダ「{0}」の中に、その他管 理ファイル「OTHERS.XML」に記述されたその他資料オリジナルファ イルがありません。 ※{0}はその他資料オリジナルファイルフォルダ名	<サブフォルダ情報> - <その他資料情報> - <オリジナルファイル 名>は、実在するファイル名にします。

5.3.11 DRAWING

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
対象工種-数	対象工種に基準・ガイドラインで指定されていない工種番号「{0:D3}」が指定されています。追加工種項目を入力して下さい。 ※{0:D3}は工種番号(数値3桁)	〈共通情報〉 - 〈対象工種-数値〉の値は、基準・ガイドラインで指定された数字を記載します。
対象工種-数値	「対象工種-数値」の値が空です。	〈共通情報〉 - 〈対象工種-数値〉の値は必須項目です。該当する工種の数値を入力してください。
対象工種-数値	「対象工種-数値」の値が整数ではありません。	〈共通情報〉 - 〈対象工種-数値〉の値は整数を入れます。
適用要領基準	「適用要領基準」の値が取得できませんでした。	〈共通情報〉 - 〈適用要領基準〉の値が入力されていません。適切な値を入れます。
適用要領基準	「適用要領基準」の値が2文字未満のため解析できませんでした。	〈共通情報〉 - 〈適用要領基準〉の値が入力されていません。適切な値を入れます。
図面ファイル名	ファイル名が命名規則に違反しています。ファイル名の長さが不正です。CAD製図基準でご確認下さい。	〈図面情報〉 - 〈図面ファイル名〉のファイル名の本体部分(拡張子を除いたファイル名)は半角英数字8文字になります。
図面ファイル名	ファイル名が命名規則に違反しています。拡張子の長さが不正です。CAD製図基準でご確認下さい。	〈図面情報〉 - 〈図面ファイル名〉のファイル名の拡張子は半角英数字3文字になります。
図面ファイル名	ファイル名先頭1文字目はライフサイクルを示す文字「S」「D」「C」「M」のいずれかである必要があります。	〈図面情報〉 - 〈図面ファイル名〉の先頭1文字はライフサイクルを示す文字「S」「D」「C」「M」のいずれかになります。
図面ファイル名	ファイル名「{0}」が命名規則に違反しています。CAD製図基準と港湾空港資料ガイドラインでご確認下さい。 ※{0}は図面ファイルのベースファイル名	〈図面情報〉 - 〈図面ファイル名〉のベースファイル名はCAD製図基準、地方整備局(港湾空港関係)の事業における電子納品運用ガイドライン【資料編】で決められた命名規則に沿ったものにします。
図面ファイル名	ファイル名が命名規則に違反しています。3-4文字目「{0}」はCAD製図基準で規定されていない図面種類です。「{1}」のいずれかを指定して下さい。 ※{0}は図面ファイル名の3-4文字目 ※{1}は図面種類の期待値	〈図面情報〉 - 〈図面ファイル名〉の3-4桁目はCAD製図基準で規定されている図面種類にします。
図面ファイル名	ファイル名が命名規則に違反しています。拡張子が不正です。CAD製図基準でご確認下さい。	〈図面情報〉 - 〈図面ファイル名〉の拡張子は英数字にします。
図面ファイル名	ファイル名4文字目はライフサイクル「S」「D」「C」「M」のいずれかである必要があります。	〈図面情報〉 - 〈図面ファイル名〉の先頭から4文字目はライフサイクルを示す文字「S」「D」「C」「M」のいずれかになります。

(5.3.11 DRAWING) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
図面ファイル名	ファイル名が命名規則に違反しています。6-7 文字目「{0}」は CAD 製図基準で規定されていない図面種類です。「{1}」のいずれかを指定して下さい。	<図面情報> - <図面ファイル名> の 6-7 桁目は CAD 製図基準で規定されている図面種類にします。
図面ファイル名	図面フォルダ「{0}」の中に図面ファイル「{1}」が実在していません。 ※{0}は実在する図面フォルダ ※{1}は図面ファイル名	SXF 形式に変換した時に生成されるファイル群を確認し、電子成果品の図面フォルダに該当する図面属性ファイルを入れます。
図面ファイル名	P2Z 形式ファイル「{0}」の中に P21 形式ファイルが実在していません。 ※{0}は P2Z のファイル名	P2Z 形式で圧縮されているファイルに P21 形式のファイルが必要です。 ※H28_03 版
図面ファイル名	P2Z 形式ファイルに端末に影響を与えるデータが含まれている可能性があります。「{0}」のエラーチェックを中止しました。	P2Z 形式で圧縮されているファイルに ZipSlip 脆弱性がありました。
SAF ファイル名	SAF ファイルの名称が命名規則に違反しています。SAF ファイル名の拡張子が .SAF になっていません。CAD 製図基準でご確認下さい。	<図面情報> - <SAF ファイル名> の拡張子は「.SAF」にします。
SAF ファイル名	SAF ファイル名が命名規則に違反しています。図面ファイル「{0}」のファイル名「{1}」と一致していません。CAD 製図基準でご確認下さい。 ※{0}は図面ファイル名 ※{1}は図面ファイルのファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）	<図面情報> - <SAF ファイル名> のファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）は図面ファイル名と同一にします。
SAF ファイル名	図面ファイルが SXF (P2Z) 形式の場合は SAF ファイルの名称は「0」にして下さい。	<図面情報> - <SAF ファイル名> を「0」にします。 ※H28_03 版
ラスタファイル名	ラスタファイル名が命名規則に違反しています。ラスタファイル名の拡張子が .TIF になっていません。CAD 製図基準でご確認下さい。	<図面情報> - <ラスタファイル> - <ラスタファイル名> は SXF Ver. 2.0 の場合 TIFF 形式の画像のみ扱えます。CAD データのラスタファイルの拡張子が「TIF」か確認してください。
ラスタファイル名	ラスタファイル名が命名規則に違反しています。ラスタファイル名の拡張子が .TIF 又は .JPG になっていません。CAD 製図基準でご確認下さい。	<図面情報> - <ラスタファイル> - <ラスタファイル名> は SXF Ver. 3.0 または 3.1 の場合 JPEG 形式と TIFF 形式の画像のみ扱えます。CAD データのラスタファイルの拡張子が「JPG」または「TIF」か確認してください。
SXF のバージョン	予期しない SXF のバージョンです。(SXF Version={0})	<図面情報> - <SXF のバージョン> の値は「2.0」「3.0」「3.1」から選択します。

(5.3.11 DRAWING) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ラスタファイル名	ラスタファイル名が命名規則に違反しています。ファイル名の長さが不正です。CAD 製図基準でご確認下さい。	<図面情報> - <ラスタファイル> - <ラスタファイル名> ファイル名の本体部分 (拡張子を除いたファイル名) は半角英数字 8 文字になります。
ラスタファイル名	ラスタファイル名が命名規則に違反しています。SXF Ver2.0 レベル 2 の場合、8 文字目は「Z」又は「0」を指定して下さい。	<図面情報> - <ラスタファイル> - <ラスタファイル名>の値の 8 文字目は「Z」又は「0」にします。(SXF Ver2.0 レベル 2 の場合)
ラスタファイル名	ラスタファイル名が命名規則に違反しています。SXF Ver3.0 レベル 2 以上の場合、8 文字目は 1~9 の整数を指定して下さい。	<図面情報> - <ラスタファイル> - <ラスタファイル名>の値のラスタファイル名の 8 文字目は「1~9」にします。(SXF Ver3.0 レベル 2 以上の場合)
ラスタファイル数	ラスタファイル数の記述と、記入されているラスタファイル名の数が一致していません。	ラスタファイル数に記載されている数字と、ラスタファイル名の数が一致していません。CAD データのラスタファイルを確認してください。
ラスタファイル数	図面ファイルが SXF (P2Z) 形式の場合、ラスタファイル数は「0」にして下さい。	<図面情報> - <ラスタファイル> - <ラスタファイル数> を「0」にします。 ※H28_03 版
ラスタファイル数	図面ファイルが SXF (P2Z) 形式の場合、ラスタファイル名は記述できません。	<図面情報> - <ラスタファイル> - <ラスタファイル名> を「0」にします。 ※H28_03 版
(図面ファイルの読み込み)	DLL ファイルが見つかりませんでした。(dll_path={0})	Windows を再起動しても同様のエラーになる場合は、図面ファイルチェック用のライブラリ (common_lib_AP202.dll) が壊れている可能性がありますので、電子納品物検査支援システムの再インストールをしてください。
(図面ファイルの読み込み)	DLL がロード出来ませんでした。(dll_path={0})	Windows を再起動しても同様のエラーになる場合は、図面ファイルチェック用のライブラリ (common_lib_AP202.dll) が壊れている可能性がありますので、電子納品物検査支援システムの再インストールをしてください。
(図面ファイルの読み込み)	P21 図面のファイルサイズが大きくなっています。ショートベクトルの利用や、多数要素のハッチングなどが行われていないか目視で P21 図面を確認してください。	CAD ガイドライン記載「SXF (P21) 形式で作成する際のファイルサイズの大きいデータに関する留意事項」の対応策を参考に P21 図面要素を確認し修正します。

(5.3.11 DRAWING) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
図面ファイル名	基準・ガイドラインにレイヤ名: {0}が見つかりませんでした。図面管理ファイルに新規レイヤとして登録して下さい。 ※ {0} はレイヤ名	レイヤ名は基準・ガイドラインで規定されているレイヤ名にします。別途レイヤを設定する場合は、新規レイヤとして登録します。
図面ファイル名	基準・ガイドラインで規定されている「レイヤ名」「線色」「線種」ではありません。(レイヤ名「{0}」、線色番号「{1}」、線種番号「{2}」) ※ {0} はレイヤ名 ※ {1} は線色番号 ※ {2} は線種番号	該当するレイヤ名、線色、線種について、基準・ガイドラインを確認してください。
図面ファイル名	レイヤ名の先頭(責任主体)に「S」「D」「C」「M」のいずれかを記入して下さい。(レイヤ名「{0}」)	レイヤ名の先頭はライフサイクルを示す文字「S」「D」「C」「M」のいずれかになります。
図面ファイル名	レイヤ名のユーザ定義領域が命名規則に違反しています。ユーザ定義領域の文字の長さが不正です。CAD製図基準をご確認下さい。(レイヤ名「{0}」) ※ {0} はレイヤ名	レイヤ名のユーザ定義領域は半角英数字に換算(全角1文字=半角2文字)して、245文字(電気通信設備編は244文字)以下にしてください。
図面ファイル名	レイヤ名のユーザ定義領域が命名規則に違反しています。ユーザ定義領域に半角英数字と全角文字以外が設定されています。CAD製図基準をご確認下さい。(レイヤ名「{0}」) ※ {0} はレイヤ名	レイヤ名のユーザ定義領域は半角英数字と全角文字が使用可能です。それ以外の文字は使用しないでください。
図面ファイル名	基準・ガイドラインに適合していない線色・線種または図面オブジェクトが見つかりました(レイヤ名「{0}」、フィーチャ名「{1}」)。「線色: {2} 線種: {3}」=>「{4}」を使用して下さい。 ※ {0} はレイヤ名 ※ {1} はフィーチャ名 ※ {2} は線色番号 ※ {3} は線種番号 ※ {4} は線色番号、線種番号の修正値	基準・ガイドラインに適合した線種・線色を使用してください。または、基準・ガイドラインに適合した図面オブジェクトを使用してください。

(5.3.11 DRAWING) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
図面ファイル名	基準・ガイドラインに適合していない線色・線種または図面オブジェクトが見つかりました (レイヤ名「{0}」、フィーチャ名「{1}」)。 「線色: {2}」 ==> 「{3}」を使用して下さい。 ※{0}はレイヤ名 ※{1}はフィーチャ名 ※{2}は線色番号 ※{3}は線色番号の修正値	基準・ガイドラインに適合した線種・線色を使用してください。または、基準・ガイドラインに適合した図面オブジェクトを使用してください。
図面ファイル名	発注用レイヤが残っています。発注用レイヤの図形要素を削除するか、または規定のレイヤに移動し、発注用レイヤを削除してください。	発注用レイヤを削除してください。 ※H28_03 版
図面ファイル名	その他の構造物等を表すレイヤ「{0}」が含まれています (レイヤ名「{1}」)	図面オブジェクト名にその他の構造物等・作業レイヤの記述 (「OTRS」、「WORK」) を含んでいるので削除してください。
新規レイヤ-略語	レイヤ名の命名規則に違反しています。CAD 製図基準をご確認下さい。	<新規レイヤ-略語>のレイヤ名 (ユーザ定義領域を除く) が CAD 製図基準の命名規則と一致していません。命名規則に合わせてください。
新規レイヤ-略語	レイヤ名の命名規則に違反しています。ユーザ定義領域の文字の長さが不正です。CAD 製図基準をご確認下さい。	<新規レイヤ-略語>のレイヤ名のユーザ定義領域は半角英数字に換算 (全角 1 文字 = 半角 2 文字) して、245 文字 (電気通信設備編は 244 文字) 以下にしてください。
新規レイヤ-略語	レイヤ名の命名規則に違反しています。ユーザ定義領域に半角英数字と全角文字以外が設定されています。CAD 製図基準をご確認下さい。	<新規レイヤ-略語>のレイヤ名のユーザ定義領域は半角英数字と全角文字が使用可能です。それ以外の文字は使用しないでください。

(5.3.11 DRAWING) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測地系	図面ファイルが {0} の場合、「00 (日本測地系)」か「01 (世界測地系)」のいずれかを記入する必要があります。	図面ファイル名が“LC”, “PL”, “GV”で、測地系に「00 (日本測地系)」か「01 (世界測地系)」が記載されていないので確認してください。
基準点緯度・経度 および基準点情報平面直角座標系番号・直角座標 X・Y座標	図面ファイルが {0} の場合、「基準点緯度・経度」「基準点情報平面直角座標系番号・直角座標 X・Y座標」のどちらかの組が全て入力されている必要があります。	図面ファイル名が“LC”, “PL”, “GV”で、「基準点緯度・経度」「基準点情報平面直角座標系番号・直角座標 X・Y座標」のどちらかの組も入力されていないので確認してください。
基準点緯度・経度 および基準点情報平面直角座標系番号・直角座標 X・Y座標	必須項目「{0}」が入力されていません。	基準点情報の座標系番号が入力されていないので確認してください。

5.3.12 PHOTO

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
写真ファイル名	写真ファイル名の連番ルールに違反しています(ベースファイル名「{0}」が重複しています)。	写真管理ファイル内に写真ファイル名の連番部分が重複したデータがありますので確認してください。
参考図ファイル名	参考図ファイル名の連番ルールに違反しています(ベースファイル名「{0}」が重複しています)。	写真管理ファイル内に参考図ファイル名の連番部分が重複したデータがありますので確認してください。
シリアル番号	「{0}」が重複しています。シリアル番号が命名規則(連番)に違反しています。	写真管理ファイル内にシリアル番号が重複していますので確認してください。
写真区分	「写真一大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」の場合は、写真区分の記入が必須です。	「写真一大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」の場合は「写真区分」に必ず入力してください。
工種	「写真一大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「品質管理写真」又は「出来形管理写真」の場合は、工種の記入が必須です。	「写真一大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「品質管理写真」又は「出来形管理写真」の場合は「工種」に必ず入力してください。
種別	「写真一大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「出来形管理写真」の場合は、種別の記入が必須です。	写真一大分類が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「出来形管理写真」の場合は「種別」に必ず入力してください。
細別	「写真一大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「出来形管理写真」の場合は、細別の記入が必須です。	「写真一大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「出来形管理写真」の場合は「細別」に必ず入力してください。
写真ファイル名	写真サブフォルダ「{0}」の中に PHOTO.XML に記述された写真ファイルがありません。	電子成果品の写真サブフォルダ(PIC)に写真ファイルがありませんので確認してください。
参考図ファイル名	参考図サブフォルダ「{0}」の中に PHOTO.XML に記述された参考図ファイルがありません。	電子成果品の参考図サブフォルダ(DRA)に参考図ファイルがありませんので確認してください。

5. 3. 13 REPORT

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
報告書ファイル名	報告書ファイル名の連番ルールに違反しています（ファイル名「{0}」が重複しています）。 ※{0}はファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）	<報告書ファイル情報> - <報告書ファイル名>の連番部分が重複していますので確認してください。
報告書オリジナルファイル名	報告書オリジナルファイル名の連番ルールに違反しています（ファイル名「{0}」が重複しています）。 ※{0}はファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）	<報告書ファイル情報> - <報告書オリジナルファイル名>の連番部分が重複していますので確認してください。
報告書ファイル名	チェック対象 PDF ファイル「{0}」が見つかりませんでした。 ※{0}はチェック対象 PDF ファイル	<報告書ファイル情報> - <報告書ファイル名>のファイル名が実在しませんので確認してください。
報告書ファイル名	DLL がロード出来ませんでした。(dll_path={0})	Windows を再起動しても同様のエラーになる場合は、PDF チェック用のライブラリ (DcPDFCk.dll) が壊れている可能性がありますので、電子納品物検査支援システムの再インストールをしてください。
報告書ファイル名	PDF 文書が不正（読込パスワードの設定、暗号化等）のため読み込みに失敗しました。この PDF 文書は検査できませんでした。	<報告書ファイル情報> - <報告書ファイル名>の PDF ファイルの暗号化等が行われている可能性があります。対象のファイルを一度削除し、登録しなおしてください。
報告書ファイル名	報告書ファイルに「しおり」が設定されていません。	<報告書ファイル情報> - <報告書ファイル名>の PDF ファイルにしおりを設定してください。
報告書ファイル名	報告書ファイルに「サムネール」が設定されていません。	<報告書ファイル情報> - <報告書ファイル名>の PDF ファイルにサムネールを設定してください。
報告書オリジナルファイル名	報告書オリジナルファイルフォルダ「{0}」の中に、REPORT.XML に記述された報告書オリジナルファイルがありません。 ※{0}は報告書オリジナルファイルフォルダ名	<報告書ファイル情報> - <報告書オリジナルファイル情報> - <報告書オリジナルファイル名>が REPORT/ORG 直下に実在しませんので確認してください。

5.3.14 SURVEY

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測量区域番号	測量区域番号は「1」から始めて下さい	<場所情報> - <測量区域番号>の値は「1」から始まります。確認してください。
測量記録フォルダパス名 測量成果フォルダパス名	「{0}」で指定されている測量サブフォルダ名が命名規則に違反しています。測量成果電子納品要領でご確認下さい。 ※{0}は<測量情報> - <測量区分>の値	<測量情報> - <測量記録フォルダパス名>、 <測量情報> - <測量成果フォルダパス名> または <測量情報> - <その他データフォルダパス名> が測量成果区分ファイルで規定された命名規約に沿っているか確認してください。
測量記録フォルダパス名 測量成果フォルダパス名	「{0}」で指定されている測量サブフォルダ名が命名規則に違反しています。(パスの先頭が SURVEY になっていません)	<測量情報> - <測量成果フォルダパス名> に記載された文字列を / で区切ったときの、 先頭の単語が SURVEY になっているか確認してください。
測量記録フォルダパス名 測量成果フォルダパス名	入力されている測量記録フォルダパス名が測量成果電子納品要領に規定されている [測量区分] [成果区分] [測量細区分] ではありません。(「{0}/{1}/{2}」) ※{0}は対象パス名を/で区切った1単語目 ※{1}は対象パス名を/で区切った2単語目 ※{2}は対象パス名を/で区切った3単語目	<測量情報> - <測量成果フォルダパス名>は測量記録フォルダパス名を入力します。 測量成果電子納品要領を参照し、適切な「SURVEY/測量区分/成果区分/測量細区分」の書式で記入してください。
測量区域 No	<場所情報>の<測量区域番号>の値と異なる値です。	<測量情報> - <測量区域 No>の値が <場所情報> - <測量区域番号>に入力された値と同一か確認します。
測量区域番号	<場所情報>の<測量区域番号>がありません。	<場所情報> - <測量区域番号>の項目が入力されているか確認します。
等級 および 地図情報レベル	等級精度は「等級」か「地図情報レベル」のいずれかを記入して下さい。	<測量情報> - <等級精度> - <等級> または <測量情報> - <等級精度> - <地図情報レベル>の項目が入力されているか確認します。
等級精度	「{0}」は等級コード一覧「{1}」に定義されていないコードです。 ※{0}は等級コード ※{1}は等級コード一覧	<測量情報> - <等級精度> - <等級>の値が等級コード一覧に含まれているか確認します。

(5.3.14 SURVEY) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
区域情報	西・東・北・南側境界座標経度又は平面直角座標系、西・東・北・南側境界平面直角座標が入力されていません。	<場所情報> - <区域情報>の値に、西・東・北・南側境界座標経度又は平面直角座標系、西・東・北・南側境界平面直角座標を入力します。
西側境界平面直角座標 東側境界平面直角座標 北側境界平面直角座標 南側境界平面直角座標	必須項目が入力されていません。 →測量成果電子納品要領の測量情報管理項目の「※2：緯度経度、又は平面直角座標のどちらか又は双方を記入する。」に対するチェックになります。	<場所情報> - <区域情報>直下の<平面直角座標系>,<西側境界平面直角座標>,<東側境界平面直角座標>,<北側境界平面直角座標>,<南側境界平面直角座標>の値を入力します。
測量成果検定証明書等のファイル名	パスの指定が不正です。	<検定情報> - <測量成果検定証明書等のファイル名>の値が空でないことを確認します。
測量成果検定証明書等のファイル名	パス指定は「/」区切りで4単語である必要があります。	<検定情報> - <測量成果検定証明書等のファイル名>の値は「/」区切りの4単語になります。
測量成果検定証明書等のファイル名	パス指定「/」区切りの1単語目は「SURVEY」である必要があります。	<検定情報> - <測量成果検定証明書等のファイル名>のファイル名の1単語目は「SURVEY」になります。
測量成果検定証明書等のファイル名	パス指定「/」区切りの3単語目は「OTHR」である必要があります。	<検定情報> - <測量成果検定証明書等のファイル名>のファイル名の3単語目は「OTHR」になります。
測量成果検定証明書等のファイル名	ファイル名が空です。	<検定情報> - <測量成果検定証明書等のファイル名>のファイル名の4単語目が記入されていることを確認します。
測量成果検定証明書等のファイル名	ファイルが実在していません。	<検定情報> - <測量成果検定証明書等のファイル名>に記載されているファイルが実在していることを確認します。
測量成果検定証明書等のファイル名	ファイル名の先頭5文字が「{0}」のいずれかである必要があります。	<検定情報> - <測量成果検定証明書等のファイル名>に記載されているファイル名の先頭5文字が基準のルールに沿った記述になっていることを確認します。
測量成果検定証明書等のファイル名	測量成果検定証明書等のファイル名の連番ルールに違反していません (ファイル名「{0}」が重複していません)。	測量情報管理ファイル内で<検定情報> - <測量成果検定証明書等のファイル名>のファイル名の連番部分が重複したデータでないことを確認します。

5. 3. 15 SURV_KTN, SURV_SJN, ...

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名の連番ルールに違反しています。	測量成果管理ファイル内で測量成果ファイル名が重複したデータがないか確認します。(ファイル名の本体部分(拡張子を除いたファイル名)が重複している場合にエラーとなります)
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。	測量成果ファイル名が電子納品要領に記載されているルールに沿っているか確認します。(SCHM, CODE で始まるファイル名の場合)
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。 測量成果ファイル名の1-3桁(測量細区分)「{0}」が命名規則に違反しています。先頭が「{1}」のいずれかで始まる文字列を指定して下さい。	測量細区分が電子納品要領に記載されているルールに沿っているか確認します。
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。 測量成果ファイル名の1-3桁(測量細区分)が命名規則に違反しています。先頭を「{1}」にして下さい。	測量成果ファイル名が電子納品要領に記載されているルールに沿っているか確認します。(SCHM, CODE で始まるファイル名の場合)
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。 測量成果ファイル名の4-5桁(成果種類)「{0}」が命名規則に違反しています。「{1}」のいずれかを指定して下さい。 (カンマ区切りの場合)	成果種類が電子納品要領に記載されているルールに沿っているか確認します。
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。 測量成果ファイル名の4-5桁(成果種類)「{0}」が命名規則に違反しています。「{1}」にして下さい。 (カンマ区切りでない場合)	成果種類が電子納品要領に記載されているルールに沿っているか確認します。
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。測量成果ファイル名の6-8桁「{0}」が命名規則に違反しています。	<測量成果情報> - <成果ファイル情報> - <測量成果ファイル名>の6-8桁目は3桁の数値で連番になります。
測量成果ファイル名	測量成果サブフォルダ「{0}」の中に、「{1}」に記述された測量成果ファイルがありません。 ※{0}は測量成果サブフォルダ名 ※{1}は測量成果ファイル名	電子成果品の測量成果サブフォルダに測量成果ファイルがあるか確認します。

(5.3.15 SURV_KTN, SURV_SJN, ...) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測量成果区分フォルダ名	測量成果区分フォルダ名が DATA の場合、測量成果区分フォルダ名は空白（空欄）である必要があります。	測量成果区分フォルダ名が DATA の場合に測量成果区分フォルダ名が空欄でないことを確認します。
測量細区分フォルダ名	空白（空欄）にしてください。 →測量成果電子納品要領の表 2-2 を見ると、地形測量の場合、 DATA にはサブフォルダありません。それをチェックしています。	〈測量成果情報〉 - 〈測量細区分フォルダ名〉に、測量細区分フォルダ名の命名規則で空白が指定されている場合、空白にします。
測量細区分フォルダ名	先頭が {0} のいずれかで始まる文字列を指定してください。 ※ {0} は測量細区分フォルダ名の命名規則で規定されたフォルダ名（複数候補あり）	〈測量成果情報〉 - 〈測量細区分フォルダ名〉に、測量細区分フォルダ名の命名規則で規定されたフォルダ名で始まる文字列（複数候補あり）であるか確認します。
測量細区分フォルダ名	先頭が {0} で始まる文字列を指定してください。 ※ {0} は測量細区分フォルダ名の命名規則で規定されたフォルダ名（1 個）	〈測量成果情報〉 - 〈測量細区分フォルダ名〉に、測量細区分フォルダ名の命名規則で規定されたフォルダ名で始まる文字列（1 個）であるか確認します。

5.3.16 SURV_DOC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ドキュメントファイル名	測量成果ファイル名の連番ルールに違反しています。	ドキュメント管理ファイル内でドキュメントファイル名が重複したデータがないか確認します。（ファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）が重複している場合にエラーとなります）

5.3.17 BORING

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ボーリング交換用データファイル名	ボーリング交換用データフォルダ「DATA」の中に、BORING.XML に記述されたボーリング交換用データファイルがありません。	電子成果品のボーリング交換用データフォルダ (DATA) にボーリング交換用データファイルがあることを確認します。
電子柱状図ファイル名	電子柱状図フォルダ「LOG」の中に、BORING.XML に記述された電子柱状図ファイルがありません。	電子成果品の電子柱状図フォルダ (LOG) に電子柱状図ファイルがあることを確認します。
電子簡略柱状図ファイル名	電子簡略柱状図フォルダ「DRA」の中に、BORING.XML に記述された電子簡略柱状図ファイルがありません。	電子成果品の電子簡略柱状図フォルダ (DRA) に電子簡略柱状図ファイルがあることを確認します。
ボーリング連番	「{0}」が重複しています。ボーリング連番が命名規則 (連番) に違反しています。	<ボーリング情報> - <ボーリング連番>の値が地質情報管理ファイル内で重複していないことを確認します。
ボーリング交換用データファイル名	「{0}」が重複しています。ボーリング交換用データファイル名が命名規則 (連番) に違反しています。	<ボーリング情報> - <ボーリング交換用データ> - <ボーリング交換用データファイル名>の値が地質情報管理ファイル内で重複していないことを確認します。
電子柱状図ファイル名	「{0}」が重複しています。電子柱状図ファイル名が命名規則 (連番) に違反しています。	<ボーリング情報> - <電子柱状図> - <電子柱状図ファイル名>の値が地質情報管理ファイル内で重複していないことを確認します。
電子簡略柱状図ファイル名	「{0}」が重複しています。電子簡略柱状図ファイル名が命名規則 (連番) に違反しています。	<ボーリング情報> - <電子簡略柱状図> - <電子簡略柱状図ファイル名>の値が地質情報管理ファイル内で重複していないことを確認します。

5.3.18 COREPIC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
写真ファイル名	写真ファイル名の連番ルールに違反しています (ファイル名「{0}」が重複しています)。 ※{0}はファイル名	コア写真管理ファイル内に<デジタルコア写真情報> <写真ファイル名>の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
写真ファイル名	コア写真フォルダ「BORING/PIC」の中に COREPIC.XML に記述された写真ファイルがありません。	コア写真管理ファイルの<デジタルコア写真情報> <写真ファイル名>に記載した写真ファイルがコア写真フォルダにあることを確認します。

5.3.19 GRNDTST

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ボーリング交換用データファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述されたボーリング交換用データファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述されたボーリング交換用データファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
電子土質試験結果一覧表ファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述された電子土質試験結果一覧表ファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述された電子土質試験結果一覧表ファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
土質試験結果一覧表データファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述された土質試験結果一覧表データファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述された土質試験結果一覧表データファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
電子データシートファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述された電子データシートファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述された電子データシートファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
データシート交換用データファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述されたデータシート交換用データファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述されたデータシート交換用データファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
デジタル試料供試体写真ファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述されたデジタル試料供試体写真ファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述されたデジタル試料供試体写真ファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
フォルダ名	「{0}」が重複しています。フォルダ名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内にフォルダ名が重複したデータがないことを確認します。
ボーリング交換用データファイル名	「{0}」が重複しています。ボーリング交換用データファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内にボーリング交換用データファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
電子土質試験結果一覧表ファイル名	「{0}」が重複しています。電子土質試験結果一覧表ファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内に電子土質試験結果一覧表ファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
土質試験結果一覧表データファイル名	「{0}」が重複しています。土質試験結果一覧表データファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内に土質試験結果一覧表データファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
電子データシートファイル名	「{0}」が重複しています。電子データシートファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内に電子データシートファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
データシート交換用データファイル名	「{0}」が重複しています。データシート交換用データファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内にデータシート交換用データファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
デジタル試料供試体写真ファイル名	「{0}」が重複しています。デジタル試料供試体写真ファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内にデジタル試料供試体写真ファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。

5.3.20 STLIST

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
公開フラグ_備考	公開フラグ_コードが「0」の場合、その理由を公開フラグ_備考に必ず設定して下さい。	公開フラグ_備考に公開不可の理由を設定します。

5.3.21 FACILITY

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
設備図書オリジナルファイル名	設備図書オリジナルファイルフォルダ「{0}」の中に、設備図書管理ファイル (FACILITY.XML) に記述された設備図書オリジナルファイルがありません。	設備図書管理ファイルに記述された設備図書オリジナルファイルが電子成果品の設備図書オリジナルファイルフォルダにあることを確認します。

5.4 実在チェック

5.4.1 BORING

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
BORING.XML ファイルが参照している DTD ファイル	DTD ファイル「{0}」が見つかりませんでした。 ※{0}は DTD ファイル名	BORING.XML ファイルが参照している DTD ファイルを確認します。 (*1)
BORING.XML ファイルのヘッダ部	処理命令(?xml)の version が取得できませんでした。	BORING.XML ファイル中に処理命令タグの version 属性が正確に記載されていることを確認します。(*1)
BORING.XML ファイルのヘッダ部	処理命令(?xml)の encoding が取得できませんでした。	BORING.XML ファイル中に処理命令タグの version 属性が正確に記載されていることを確認します。(*1)
BORING.XML ファイルのヘッダ部	文書型宣言 (DOCTYPE) のシステム識別子 (SYSTEM) の DTD ファイル名が取得できませんでした。	BORING.XML ファイル中に処理命令タグの version 属性が正確に記載されていることを確認します。(*1)
BORING.XML ファイル	XML ファイル「{0}」が見つかりませんでした。 ※{0} XML ファイル名	BORING.XML ファイルがあることを確認します。

*1) DTD, XML の出力例

<http://www.cals-ed.go.jp/calsec/dtdxml.htm>

5. 4. 2 BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnn、BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnn

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
BORING/TEST/BRGnnnn/ TSnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/ TSnnnnn 形式のフォルダ直下に 実在するファイルの 内、 GR で始まるファイル	グラフイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反しています。 「GRNNMM. 拡張子」(NN, MM はそれぞれ連番 2 桁) にして下さい。 ※ {0} はグラフイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 GR で始まるファイルは 「GRNNMM. 拡張子」の形式になります。
BORING/TEST/BRGnnnn/ TSnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/ TSnnnnn 形式のフォルダ直下に 実在するファイルの 内、 SK で始まるファイル	供試体スケッチイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反して います。「SKLL. 拡張子」(LL は連番 2 桁) にして下さい。 ※ {0} は供試体スケッチイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SK で始まるファイルは 「SKLL. 拡張子」の形式になります。
BORING/TEST/BRGnnnn/ TSnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/ TSnnnnn 形式のフォルダ直下に 実在するファイルの 内、 SS で始まるファイル	試験装置スケッチイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反し ています。「SSLL. 拡張子」(LL は連番 2 桁) にして下さい。 ※ {0} は試験装置スケッチイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SS で始まるファイルは 「SSLL. 拡張子」の形式になります。

(5.4. 2BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn、BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn) 続き

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
BORING/TEST/BRGnnnn/ TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/ TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に 実在するファイルの 内、 SR で始まるファイル	金属性リブスケッチイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反 しています。「SRLL. 拡張子」(LL は連番 2 桁) にして下さい。 ※{0} は金属性リブスケッチイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SR で始まるファイルは 「SRLL. 拡張子」の形式になります。
BORING/TEST/BRGnnnn/ TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/ TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に 実在するファイルの 内、 SJ で始まるファイル	試料状態スケッチイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反し ています。「SJLL. 拡張子」(LL は連番 2 桁) にして下さい。 ※{0} は試料状態スケッチイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SJ で始まるファイルは 「SJLL. 拡張子」の形式になります。
BORING/TEST/BRGnnnn/ TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/ TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に 実在するファイルの 内、 SH で始まるファイル	試験方法スケッチイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反し ています。「SHKKJJ. 拡張子」(KK, JJ はそれぞれ連番 2 桁) にして下 さい。 ※{0} は試験方法スケッチイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SH で始まるファイルは 「SHKKJJ. 拡張子」の形式になります。

(5. 4. 2BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn、BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn) 続き

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
BORING/TEST/BRGnnnn/ TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/ TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に 実在するファイルの 内、 S で始まる JPG ファイ ル	デジタル試料供試体写真ファイル名「{0}」が命名規則に違反して います。「SNNNMMMK.JPG」(NNN, MMM はそれぞれ連番3桁、K は連番 1桁) にして下さい。 ※{0}はデジタル試料供試体写真ファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 S で始まる JPG ファイルは 「SNNNMMMK.JPG」の形式になります。

5. 4. 3 SURVEY DOC

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
SURVEY/DOC 直下に実在 するファイル	ドキュメントファイル名(特記仕様書・協議書・実施報告書等)が 命名規則に違反しています。「SPECSnnn.PDF」又は「MEETSnnn.PDF」 又は「SUVRPnnn.*」(nnn は連番3桁) にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルが「SPECSnnn.PDF」又は 「MEETSnnn.PDF」又は「SUVRPnnn.*」形式のファイルとなっている ことを確認します。(H16 用)
SURVEY/DOC 直下に実在 するファイル	ドキュメントファイル名(特記仕様書・協議書・実施報告書・製品 仕様書等)が命名規則に違反しています。「SPECSnnn.PDF」又は 「MEETSnnn.PDF」又は「SUVRPnnn.*」又は「SPECPnnn.PDF」(nnn は 連番3桁) にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルが「SPECSnnn.PDF」又は 「MEETSnnn.PDF」又は「SUVRPnnn.*」形式のファイルとなっている ことを確認します。(H20 用)
SURVEY/DOC 直下に実在 するファイル	ドキュメントファイル名(特記仕様書・協議書・実施報告書・製品 仕様書等・その他資料)が命名規則に違反しています。 「SPECSnnn.PDF」又は「MEETSnnn.PDF」又は「SUVRPnnn.*」又は 「SPECPnnn.PDF」又は「OTHRsnnn.*」(nnn は連番3桁) にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルが「SPECPnnn.PDF」又は 「SPECSnnn.PDF」又は「MEETSnnn.PDF」又は「SUVRPnnn.*」又は 「OTHRsnnn.*」形式のファイルとなっていることを確認します。 (R03 用)
SURVEY/DOC 直下に実在 するファイルの内、 SPECS で始まるファイ ル	特記仕様書のファイル名が命名規則に違反しています。 「SPECSnnn.PDF」(nnn は連番3桁) にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SPECS で始まるファイル が「SPECSnnn.PDF」形式のファイルとなっていることを確認します。

(5.4.3 SURVEY DOC) 続き

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、MEETS で始まるファイル	協議書のファイル名が命名規則に違反しています。「MEETSnnn. PDF」(nnn は連番 3 桁) にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、MEETS で始まるファイルが「MEETSnnn. PDF」形式のファイルとなっていることを確認します。
SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SPECP で始まるファイル	製品仕様書のファイル名が命名規則に違反しています。「SPECPnnn. PDF」(nnn は連番 3 桁) にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SPECP で始まるファイルが「SPECPnnn.*」形式のファイルとなっていることを確認します。
SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SUVRP で始まるファイル	実施報告書のファイル名が命名規則に違反しています。「SUVRPnnn.*」(nnn は連番 3 桁) にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SUVRP で始まるファイルが「SUVRPnnn.*」形式のファイルとなっていることを確認します。
SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SPECP で始まるファイル	製品仕様書のファイル名が命名規則に違反しています。「SPECPnnn. PDF」(nnn は連番 3 桁) にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SPECP で始まるファイルが「SPECPnnn.*」形式のファイルとなっていることを確認します。

5.4.4 SPEC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
DRAWINGS/SPEC 直下に実在するファイル	特記仕様書オリジナルファイル名の命名規則に違反しています。「SPECnn.*」にして下さい。	DRAWINGS/SPEC 直下に実在するファイルが「SPECnn.*」形式のファイルとなっていることを確認します。
DRAWINGS/SPEC 直下に実在する複数ファイル	特記仕様書オリジナルファイル名の連番ルールに違反しています(ベースファイル名「{0}」が重複しています)。	DRAWINGS/SPEC 直下に実在する複数ファイルの中で、ベースファイル名(拡張子を除いたファイル名)が一致するファイルが他に存在しないことを確認します。

5.4.5 K_LDR

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
DLI で始まる実在 XML ファイル	{0} は施設台帳ファイルの命名規則に違反しています。「DLInnn_m.XML」にして下さい。	DLI で始まる実在 XML ファイル (DLI*.XML) が「DLInnn_m.XML」形式のファイル名となっていることを確認します。
DLA で始まる実在 XML ファイル	{0} は機器台帳ファイルの命名規則に違反しています。「DLAnnn_m.XML」にして下さい。	DLA で始まる実在 XML ファイル (DLA*.XML) が「DLAnnn_m.XML」形式のファイル名となっていることを確認します。

5.4.6 ICON、BIMCIM

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
-	ICON フォルダのサブフォルダが存在しません。	ICON フォルダの中にサブフォルダを配置します。
-	ICON フォルダのサブフォルダの中にファイルが存在しません。	ICON フォルダのサブフォルダの中にファイルを配置します。
-	「ICON/CIM/DOCUMENT」フォルダが存在しません。	「ICON/CIM/DOCUMENT」フォルダを配置します。
-	「ICON/CIM」のサブフォルダ (DOCUMENT フォルダを除く) に成果ファイルが存在しません。	「ICON/CIM」のサブフォルダ (DOCUMENT フォルダを除く) に成果ファイルを配置します。
-	「ICON/BIMCIM/DOCUMENT」フォルダが存在しません。	「ICON/BIMCIM/DOCUMENT」フォルダを配置します。
-	「ICON/BIMCIM」のサブフォルダ (DOCUMENT フォルダを除く) に成果ファイルが存在しません。	「ICON/BIMCIM」のサブフォルダ (DOCUMENT フォルダを除く) に成果ファイルを配置します。
BIMCIM フォルダの中の DOCUMENT フォルダ	「BIMCIM/DOCUMENT」フォルダが存在しません。	BIMCIM フォルダの中に DOCUMENT フォルダがあることを確認します。
BIMCIM のサブフォルダ (DOCUMENT フォルダ除く) の中のファイル	「BIMCIM」のサブフォルダ (DOCUMENT フォルダを除く) に成果ファイルが存在しません。	BIMCIM のサブフォルダ (DOCUMENT フォルダ除く) の中にファイルがあることを確認します。

5.4.7 フォルダ

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
-	「{0}」フォルダが存在しません。	管理ファイルに記述されたフォルダ名に対応する実フォルダを配置します。
-	実フォルダ名を半角英数大文字にしてください。	管理ファイルに記述されたフォルダ名に対応する実フォルダの名称を半角英数大文字にします。
-	「REGISTER」フォルダの記述を追加するか「PHOTO」フォルダのみの記述としてください。	工事写真 (PHOTO) のみを納品する場合を除いて、台帳フォルダ (REGISTER) の作成は必須となります。台帳フォルダ (REGISTER) を含めていただくか、工事写真 (PHOTO) のみとしてください。

5.5 その他の処理（エラー・警告・情報メッセージ）

メッセージ	メッセージの対応
電子納品フォルダを選択して下さい。	電子納品データが格納された、正しい電子納品フォルダ名を入力してください。
電子納品フォルダ指定が不正です。	電子納品フォルダ名が不正（ネットワーク上のフォルダを指定されている等）な場合はエラーとなります。 正しい電子納品フォルダ名を入力してください。
成果品ファイルに、端末に影響を与えるデータが含まれている可能性があります。処理を中止します。	電子成果品が不正（Zipslip）な zip ファイルで作成されています。
電子納品フォルダ名「{0}」は存在していません。 ※{0}は電子納品フォルダ名	電子納品データが格納されたフォルダ名が実在していることを確認してください。
電子納品コピー先フォルダを選択して下さい。	電子納品データのコピー先フォルダを正しく入力してください。
電子納品コピー先フォルダ名「{0}」は存在していません。 ※{0}は電子納品コピー先フォルダ名	電子納品データのコピー先フォルダが実在していない場合はエラーとなります。 正しい電子納品コピー先フォルダを入力してください。
電子納品コピー先フォルダ指定が不正です。	電子納品データのコピー先フォルダ指定が不正（ネットワーク上のフォルダを指定されている等）な場合はエラーとなります。正しい電子納品コピー先フォルダを入力してください。
電子納品フォルダを選択して下さい。	※「電子納品フォルダの選択」の参照ボタンを押下したときに表示される「フォルダの参照」を開いたときに表示されます。（上部表示される名称）
取り込み先フォルダを選択して下さい。	※「ハードディスクに取り込んでから閲覧・チェック」の参照ボタンを押下したときに表示される「フォルダの参照」を開いたときに表示されます。（上部表示される名称）
システムを終了しますか？	※終了ボタンを押下した場合に表示されます。
「{0}」の下に、「{1}」のデータが存在します。削除しますか？ {NewLine} [いいえ]を選択するとコピー先に存在するデータをチェック・閲覧対象とします。 ※{0}は取り込み先フォルダ名 （末尾に dc_temp が付加されたパス名） ※{1}は取り込み済みのインデックス ファイル中の<工事名称>又は<業務名称> ※{NewLine}は改行コード	「ハードディスクに取り込んでから閲覧・チェック」を ON にした状態でかつ、取り込み先ディレクトリに既にデータが入っている場合に、 「閲覧画面表示」または「エラーチェック」ボタンを押下した時に表示されます。 過去に「電子納品コピー先フォルダ」にデータを取り込んでいる場合に表示されます。 過去に取り込んだデータを消して、新たにデータを取り込む場合は [はい] を選択します。 過去に取り込んだデータを使う場合は、[いいえ] を選択します。

(5.5 その他の処理 (エラー・警告・情報メッセージ)) 続き

メッセージ	メッセージの対応
<p>「{0}」の下に、既存データが存在します。削除しますか？ {NewLine} [いいえ]を選択するとコピー先に存在するデータをチェック・閲覧対象とします。</p> <p>※ {0} は取り込み先フォルダ名 ※ {NewLine} は改行コード</p>	<p>「ハードディスクに取り込んでから閲覧・チェック」を ON にした状態でかつ、取り込み先ディレクトリに既にデータが入っている場合に、「閲覧画面表示」または「エラーチェック」ボタンを押下した時に表示されます。</p> <p>※取り込み済みデータがインデックスファイルなしの場合で、データ名称は取得できない場合</p> <p>過去に「電子納品コピー先フォルダ」にデータを取り込んでいる場合に表示されます。</p> <p>過去に取り込んだデータを消して、新たにデータを取り込む場合は [はい] を選択します。</p> <p>過去に取り込んだデータを使う場合は、 [いいえ] を選択します。</p>
<p>コピー処理を中断しました。</p>	<p>電子納品フォルダのコピー処理実行時に、「いいえ」ボタンによりコピー処理がキャンセルされた場合に表示されます。</p>
<p>{0} が既に存在します。削除しますか？</p> <p>※ {0} はコピー先フォルダ名</p>	<p>電子納品フォルダのコピー先フォルダ削除実行時に表示されます。</p> <p>※コピー先フォルダにインデックスファイルが無い場合。</p> <p>コピー先フォルダを削除したくない場合は、 [いいえ] を選択します。</p> <p>コピー先フォルダを削除しても問題ない場合は、 [はい] を選択します。</p>
<p>コピー処理は実行されませんでした。</p>	<p>電子納品フォルダのコピー処理実行時に、「いいえ」ボタン押下またはコピー実行時例外によりコピー処理がキャンセルされた場合に表示されます。</p>
<p>コピー処理がキャンセルされました。処理を中止します</p>	<p>コピー処理実行がキャンセルされた場合に表示されます。</p>
<p>予期しない例外が発生しました。処理を中止します</p>	<p>コピー実行時に予期しない例外が発生した場合に表示されます。</p>
<p>メディア総枚数が取得できませんでした。処理を中止します。</p>	<p>複数分割の電子納品取り込み実行時にメディア総枚数が取得できなかった場合に表示されます。</p>
<p>メディア番号が不正です。{0} 枚目のメディアを指定して下さい。</p>	<p>複数分割の電子納品取り込み実行時に指定した番号が、メディアの (インデックスファイル中の) メディア番号と一致しなかった場合に表示されます。</p>

(5.5 その他の処理 (エラー・警告・情報メッセージ)) 続き

エラーメッセージ	エラーへの対応
<p>{0} 枚目のメディア (又はディレクトリ) を指定して下さい。{NewLine} {NewLine} [キャンセル] ボタンを押すと、コピー処理を中止します。</p> <p>※ {0} はメディア番号 ※ {NewLine} は改行コード</p>	<p>複数分割の電子納品取り込み実行時、2 枚目以降の電子納品物の場所指定時に表示されます。</p>
<p>複数分割されたメディアの総枚数を入力して下さい。</p>	<p>複数分割の電子納品取り込み実行時、メディアの総枚数入力を指定する場合に表示されます。</p>
<p>指定されたメディア (又はディレクトリ) が存在しません。</p>	<p>複数分割の電子納品取り込み実行時に指定されたメディアの場所 (CD-ROM ドライブ又はディレクトリ) が存在しなかった場合に表示されます。</p>
<p>指定されたメディア番号が不正です。1 以上の整数を入力して下さい。</p>	<p>複数分割の電子納品取り込み実行時に指定されたメディア番号が1以上の整数値になります。</p>
<p>処理がキャンセルされました。</p>	<p>複数分割の電子納品取り込み実行時にメディアの総枚数入力画面で処理をキャンセルした場合に表示されます。</p>
<p>工事番号「{0}」が不正です。期待される工事番号は「{1}」です。</p> <p>※ {0} は工事番号 (入力値) ※ {1} は工事番号 (期待値)</p>	<p>複数分割の電子納品取り込み実行時に指定されたメディアのインデックスファイルの工事番号が不正だった場合に表示されます。 同一の工事番号の電子納品物を読み込みしてください。</p>
<p>設計書コード「{0}」が不正です。期待される設計書コードは「{1}」です。</p> <p>※ {0} は設計書コード (入力値) ※ {1} は設計書コード (期待値)</p>	<p>複数分割の電子納品取り込み実行時に指定されたメディアのインデックスファイルの設計書コードが不正だった場合に表示されます。 同一の設計書コードの電子納品物を読み込みしてください。</p>
<p>CD-ROM メディアが準備出来ていません。</p>	<p>CD-ROM ドライブが準備できていなかった場合に表示されます。(CD-ROM ドライブがイジェクトされた状態等) CD-ROM が読み込み可能な状態にしてから再度実行してください。</p>
<p>INDEX ファイルを取得できませんでした。処理を中止します。</p>	<p>チェック・閲覧対象フォルダ指定画面を開こうとした際に、インデックスファイルが存在していなかった場合に表示されます。</p>
<p>フォルダ選択情報の特定に失敗しました。</p>	<p>インデックスファイル名称が不正 (INDEX_C - コピー.xml 等) であった場合に表示されます。 インデックスファイル名を確認してください。</p>
<p>選択可能な INDEX ファイル、フォルダが1つもありません。</p>	<p>電子納品フォルダに中身が全て空のフォルダを指定された場合に表示されます。 電子納品フォルダを確認してください。</p>
<p>チェック対象フォルダが選択されていません。 {NewLine} チェックを行いたいフォルダを選択して下さい。</p> <p>※ {NewLine} は改行コード</p>	<p>チェック・閲覧対象フォルダ指定画面で対象フォルダが1つも選択されていなかった場合に表示されます。チェック・閲覧対象フォルダは最低でも1つ以上選択してください。</p>
<p>{0} ファイルが存在しないため、選択出来ません。</p> <p>※ {0} は選択したファイル名称</p>	<p>チェック・閲覧対象フォルダ指定画面で (存在しないために) 選択できないファイル (背景色がグレーになっているノード) を選択しようとした時に表示されます。</p>

(5.5 その他の処理 (エラー・警告・情報メッセージ)) 続き

エラーメッセージ	エラーへの対応
<p>{0} フォルダが存在しないため、選択出来ません。</p> <p>※ {0} は選択したフォルダ名称</p>	<p>エラーへの対応</p> <p>チェック・閲覧対象フォルダ指定画面で (存在しないために) 選択できないフォルダ (背景色がグレーになっているノード) を選択しようとした時に表示されます。</p>
<p>{0} に出力時にエラーが発生しました</p> <p>※ {0} は出力先 GSV ファイル名</p>	<p>CSV ファイル出力時に、出力先ファイルが他のアプリケーションで開かれている場合等に表示されます。</p> <p>他のアプリケーションを終了した後再度実行してください。</p>
<p>電子納品フォルダ直下に不正な INDEX ファイル (*.XML) が存在しています。 {NewLine} {NewLine}</p> <p>※ {NewLine} は改行コード</p>	<p>チェック・閲覧対象フォルダ指定画面用の設定ファイル中に、指定されたインデックスファイルが存在しなかった場合に表示されます。</p> <p>正しいインデックスファイルのみ存在することを確認してください。</p>
<p>XML ファイル「{0}」が壊れています。</p> <p>※ {0} は XML ファイル名</p>	<p>インデックスファイルが XML ファイルとして読み込めなかった場合に表示されます。</p> <p>XML ファイルの内容が正しいか確認してください。</p>
<p>電子納品フォルダ直下に複数の INDEX ファイル (*.XML) が存在しています。 {NewLine} {NewLine} {0}</p> <p>※ {NewLine} は改行コード ※ {0} は複数個のインデックス XML ファイル名</p>	<p>電子納品フォルダ直下に複数の INDEX ファイルが存在していた場合に表示されます。</p> <p>正しいインデックスファイルのみ存在することを確認してください。</p>
<p>XML ファイル「{0}」が DTD の定義に合っていません。「{1}」</p> <p>※ {0} は XML ファイル名 ※ {1} はエラー詳細</p>	<p>XML ファイルの DTD による妥当性検証時、エラーとなった場合に表示されます。</p> <p>XML ファイルの内容が正しいか確認してください。</p>
<p>{0} : 文字コードは「Shift_JIS」としてください (ファイル内の XML 宣言、ファイルの保存文字コード)</p> <p>※ {0} は XML ファイル名</p>	<p>インデックスファイルが「Shift_JIS」以外で保存されている場合に表示されます。</p> <p>保存形式を「Shift_JIS」に修正してください。</p>
<p>{0} : 文字コード {1} は使用できません。</p> <p>※ {0} は XML ファイル名 ※ {1} は文字コード名</p>	<p>管理ファイルが「Shift_JIS」「UTF-8」「UTF-16」以外で保存されている場合に表示されます。</p> <p>保存形式を「Shift_JIS」「UTF-8」「UTF-16」のいずれかに修正してください。</p> <p>※電子納品要領に従わない全て半角英数字のみで構成される管理ファイルの場合、文字コードが「ASCII」と表示される場合があります。正しい形式に修正してください。</p>
<p>{0} : XML 宣言の encoding に誤りがあります。</p> <p>※ {0} は XML ファイル名</p>	<p>管理ファイルの「XML 宣言」の encoding の記述が誤っている場合に表示されます。</p> <p>encoding 記述を修正してください。</p>
<p>{0} : XML 宣言の encoding と保存状態が不一致です。</p> <p>※ {0} は XML ファイル名</p>	<p>管理ファイルの「XML 宣言」の encoding 記述と保存形式が異なっている場合に表示されます。記述と保存形式を一致させてください。</p>

(5.5 その他の処理 (エラー・警告・情報メッセージ)) 続き

エラーメッセージ	エラーへの対応
<p>{0}:適用要領基準と DTD ファイルの組合せに誤りがあります。</p> <p>※{0}は XML ファイル名</p>	<p>管理ファイルの適用要領基準と DTD ファイルのバージョンが矛盾している場合に表示されます。適用要領基準と DTD ファイルのバージョンを揃えてください。</p>
<p>{0}:ファイルが取得できませんでした。</p> <p>※{0}は XML ファイル名</p>	<p>管理ファイルが存在しない場合に表示されます。管理ファイルを作成してください。</p>
<p>{0}:保存文字コードが不正です。「UTF-8」または「UTF-16」で保存してください。</p> <p>※{0}は DTD ファイル名</p>	<p>DTD ファイルが「UTF-8」または「UTF-16」で保存されていない場合に表示されます。「UTF-8」または「UTF-16」で保存してください。</p>
<p>{0}:「{1}」ファイルが取得できませんでした。</p> <p>※{0}は XML ファイル名 ※{1}は DTD ファイル名</p>	<p>DTD ファイルが存在しない場合に表示されます。DTD ファイルを作成してください。</p>
<p>エラーはありませんでした。</p> <p>(エラー結果画面および印刷プレビュー画面・印刷画面に出力)</p>	<p>エラーチェックによるエラーが1件も検出されなかった場合に表示されます。</p>
<p>ZIP 圧縮が行われていません。ハッシュ値が空欄になります。印刷しますか。</p>	<p>「ZIP 圧縮」前に「結果印刷」を行った場合に表示されます。 オンライン電子納品で「結果印刷」PDF を登録する場合は、「ZIP 圧縮」を行ってから「結果印刷」をしてください。</p>

電子納品物検査支援システム バージョン 4.0
システム操作説明書

2011年	3月	初版発行
2012年	1月	第二版発行
2012年	9月	第三版発行
2013年	3月	第四版発行
2016年	3月	第五版発行
2016年	12月	第六版発行
2017年	3月	第七版発行
2018年	3月	第八版発行
2019年	3月	第九版発行
2020年	3月	第十版発行
2020年	6月	第十一版発行
2022年	3月	第十二版発行
2023年	3月	第十三版発行

発行 国土交通省 国土技術政策総合研究所